



字音假字用格序

薦紳名流。斐然黼黻。其章者代。

不鮮矣。然論學識。則寥々。止聞

為方今。昭代之化。文運渙發。

豪傑之士。勃焉崛起。先有契冲。

故  
横山有策氏  
昭和四年五月  
寄贈

字音假字

序一



ホ 2  
4300

氏○而後有縣居翁○一則龍舉浪  
華○一則虎視江門○盛唱復古之  
學○海內為之○一新○然是猶擅力  
訓詁○未遑及修辭也○嗟夫併文  
藻○典學識而大成焉者○吾未見

其人○果其無人乎○吾本居先  
生○抱命世之才○學術精博○覈究  
永言○之妙○其於歌也○翱翔八代  
之際○而衆美具之○其於學也○紹  
明二公之業○而成功過之○吾所

○序二



謂其人<sup>ナルカナ</sup>也哉。斯編也。講業之暇。○  
為<sup>ニ</sup>問字音假字者。而作也。其說  
詳審精覈。一展卷則瞭然在目。  
矣。可謂萬世不朽之準則也。至  
如其發<sup>キニ</sup>喉音三差之義理<sup>ヲ</sup>辨<sup>スルカオ</sup>於<sup>中</sup>

乎。二音之錯置<sup>ヲ</sup>則非<sup>スハ</sup>命世之才。○  
學術精博者。豈能至於此哉。○蓋  
字音假字也。係於百家之學也。○  
操槩之士不可不知。操槩之士  
不可不知。則<sup>ハ</sup>是書不可不觀。是



書不可不觀則可以傳天下後  
世兵為之序

安永四年春三月

門人 須賀直見謹撰

（Faint background text, likely bleed-through from the reverse side of the page.)

字音が那豆河比乃序  
漢字もろしめら本波國人之名  
成位以是理字學淑於琢也二  
心手茂ハ能大御國之務而有  
（Additional smaller text and characters are present in the left margin of this page.)

（Vertical text in the left margin of the right page.)

○序四



フニモキタナケクヨムニモイヤレナ  
 二毛徑久神禱ラ古辭行  
テ○イニレノオホミヨニハ○イ  
 九互六之天出代施子十小升  
ムラタケイサメノコトビニモ○ツ  
 兼竹五十藤曰之予回若如若  
ユマジヘズナモアリケル○シカニハ  
 由摩自倍之魚藻之集於浦波  
アレドモソノクニブミハシモ○ミヅガキノヒサレキトキ  
 隆有其國籍之不水垣之久時

ヨリツタハリキニテシアリケレバ  
ソレヨミナレキナレテ○ヨ、ヲフルミ  
 所傳來去而之在邪禮祭通  
ニ○オノヅカラキタナシトモシラズナリ○イヤレ  
 麻通之自然偶如母之志變鄰  
トモオモホエズナリテ○ウ斯拉ビノウチ  
 止毛不取思化之為之如之亦  
トケゴトハサラニモイハズ○ウチヒサスミヤビ  
 解之者更爾文不云内日來輕

Handwritten marginal note on the left side of the page.



ゴト ニ スラ ヤ、ウ チニヅリツ、ノチツヒニハ トツ  
 語ニ為 稽字と 難 尚ほ 遂と 上  
 クニノコトト レモ アラヌガゴトナリ モテキツン。  
 國之 上 野 如 不在 為 以 來 下  
 イヤヒケニ ホビコリテ。イマシハシ  
 彌日 實 係 此 許 里 自 今 之 未 之  
 オホカタノコトノハ ナカラハ コノモジゴエラ  
 大凡 之 言 之 業 半 之 此 之 音 字  
 ナモツカヒ アフメルコニシアレバ。レ  
 那 毛 用 河 希 米 流 之 西 之 音 字 牡

カ ス ガ ニ コ レ ガ カ ナ モ レ ラ デ  
 森 榮 經 許 之 子 似 子 望 不 後 之  
 ハタ エ アラス ヲザナルヲハ イダ  
 波 多 得 不 在 和 邦 亦 其 未  
 テルツキノマ サヤカニニルセルモノモ  
 照 之 之 大 以 以 南 記 号 法 如 母  
 ナク。レラタマツバキ ツバラニ アゲタルフミシナ  
 其 不 玉 積 委 如 素 而 有 志 終  
 レバ。モノカクニマドハシキ フレブシサハ  
 禮 波 女 亦 如 女 終 亦 終 亦 終

144006



ナルガユエニ。オノレイムサキコノスヂノフミ  
 在之故ニ己道日始決意之也  
ラカレコノコノナニクノトリイデタツ  
 學彼之此之何何正心取出者  
子ツタタレノミチノタシキヲサダメ  
 索下。多々志能匠之正伎士如定  
テ。レギノハ子ガキカキツメオキツルニ  
 師之氣之。羽根捲書。意。意。意。二  
ニタコノカナナノユエヨレナド。オモヒエ  
 又此。侮。子。し。而。由。奈。梓。思。乃。而

ルコトイサカアゲツラヒタルヲシモハシツカタニクハハ  
 多事放。次。多。福。字。字。お。あ。輝。子。が  
テ。コレノヒトニキトハナレツ。トキハ  
 而。許。禮。能。一。卷。老。藥。成。部。時。也  
アマエイノヨトセトイフトレムツキノトラカノヒ  
 安。永。之。四。季。云。年。正。月。之。十。日  
カクイフハイセビトモトヲリノノリナガ  
 如。是。之。者。伊。集。人。本。長。室。長

Handwritten marginal note on the left side of the page.



字音假字用格

目錄

喉音三行辨 四

三行分生圖 五

おを所属辨 七

字音假字總論 十二

字音開合指掌圖 十七

字音假字三會圖 十九

凡例 廿五

輕重等第圖 六

*[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]*

字音假字



いぬ之假字

廿七

いゝ廿七  
いやく廿九  
いゝ三十  
いや三十一

いゆ三十二  
いよ三十三  
いづ三十四  
いやく三十五

いゆ三十六  
いむ三十七  
いよ三十八  
いよ三十九

いふ四十  
いむ四十一  
いよ四十二  
いよ四十三

えゑ之假字

卅一

えう卅二  
えむ卅三  
えき卅四  
えき卅五

えふ卅六  
えむ卅七  
えむ卅八  
えむ卅九

えい四十  
えい四十一  
えつ四十二  
えつ四十三

えい四十四  
えい四十五  
えつ四十六  
えつ四十七

おを之假字

附あ 卅五

おう卅六  
あふ卅七  
をく卅八

をう卅九  
おむ四十  
おつ四十一

あ四十二  
を四十三  
を四十四  
を四十五

あ四十六  
あ四十七  
あ四十八  
あ四十九

か行之假字

卅九

かう卅九  
きう四十  
きう四十一

かう四十二  
きう四十三  
きう四十四

きう四十五  
かう四十六  
かう四十七  
きう四十八

きう四十九  
かう五十  
かう五十一  
きう五十二

さ行之假字

四十四

さう四十四  
さう四十五  
さう四十六

さう四十七  
さう四十八  
さう四十九  
さう五十

さう五十一  
さう五十二  
さう五十三  
さう五十四

さう五十五  
さう五十六  
さう五十七  
さう五十八

た行之假字

四十六

たう四十六  
ちう四十七  
ちう四十八

ちう四十九  
ちう五十  
ちう五十一  
ちう五十二

ちう五十三  
ちう五十四  
ちう五十五  
ちう五十六

ちう五十七  
ちう五十八  
ちう五十九  
ちう六十

な行之假字

四十八

なう四十八  
ぬう四十九  
ぬう五十

ぬう五十一  
ぬう五十二  
ぬう五十三  
ぬう五十四

ぬう五十五  
ぬう五十六  
ぬう五十七  
ぬう五十八

ぬう五十九  
ぬう六十  
ぬう六十一  
ぬう六十二

は行之假字

四十八

はう四十八  
はう四十九  
はう五十

はう五十一  
はう五十二  
はう五十三  
はう五十四

はう五十五  
はう五十六  
はう五十七  
はう五十八

はう五十九  
はう六十  
はう六十一  
はう六十二



○ちゝ 四十九

ひゝ

へゝ

ちふ

ま行之假字 五十

○まゝ 五十

り

○みや 五十

ちゝ

ら行之假字 五十

○らゝ

ろ

○らゝ 五十

らふ

らゝ

らゝ 五十一

らふ

○らゝ

濁音ちぢぢ之假字 五十一

韻いぬ之假字 五十三

下中、之假字 五十四

韻む之假字 五十四

目録終

字音假字用格



本居宣長著

此書ハ漢字音ノ假字ヲ正サン為ニ著セリ凡其字音此方ニ古ヨリ傳用ルトコロ漢吳ノニツアリ又是ニ近世傳ル唐音ト云モノヲ加ヘテハ三ツニ此三ノ音ノ事ハ予別ニ漢字三音考ヲ著シテ委ク辨セリサテ此中ニ彼唐音ト云モノハ古來ノ傳ニ非ズノ世ニ普ク用ル者ニモ非レバ是ヲサシオキテ今ハタゞ漢吳ニ音ノ假字ヲ論辨ス抑此字音ノ假字ノ常ニガヒヤスキハ多クハト引、音ニアリあゝトコゝトふゝト混ジキヤゝトキゝゝトキゝゝトミギル



ル類之然レド是ラハ其所屬ノ韻ニヨリ又其入聲ノ字ナドニテモ  
分ルハナレガタゞ辨ヘガタキハ喉音三行 アイウエオ。ヤイユ  
エヨ。ワヰウヱヲノ差別  
ニテ其いのえゑおをノ假字ハ字音ノミナラス御國言ニ於テモ  
後世多クハ錯乱シテ善ク是ヲ辨ル人無シテ數百年ヲ経タリ然  
ルニ近世難波ノ契冲僧始テ是ヲ考ヘ出シ和字正濫抄ヲ著セ  
ルヨリ古ノ假字再ビ世ニ明ラカナリヌルハ比類ナキ大功ナリソノ  
後古學ノ道イヨク開ケテ古言ノ假字ツカヒニオキテハ今ハ遺漏  
無キヲ 近年出来タル古言  
梯便リヨキ書シ字音ノ假字ニ至テハ未詳ニ考ヘ定メタル  
モノナクシテ喉音三行ノ假字ハ殊ニ明ラカナラス故ニ今先此三行ノ

義ヲ辨スルノ尤ノ如シ

### 喉音三行辨

先大御國ノ喉音ニあや日三行ノ差別アル所以ノ原ヲヨク明ラ  
メオキテ後ニ字音ノ假字ヲ論ズベシ抑此三行ハあいうえおヨリ  
分レタル音ニシテ其本ハ一ナリサテ一ニシテ三ニ分レタル所以ハあいう  
えおノ五音ノ下ヘ又各あいうえおノ五ノ音ヲ重カサレバ自然トツ  
マリテやいゆえよわぬうゑをノ音トナルユエニ別ニ此二行ハアル  
ナリ 喉音ニノミ此差別アリテ餘ノ加さたあえまらノ七行ニハ是レ無  
ハイカニト云ニツヅヤ行ニ行ノ音ハモトニ音ヅ重ナリタルモノナレバ実ハ  
イハユル抑音ニ然レド喉音ハ餘音ニ類せず柔輒隱微ナルユエニ二音ツヅ重  
ナレドオノヅカラツヅマリテ直音ノ如クナルユエニ此二行ノ三音トナルニ餘ノ七行



喉音三行分生圖

(中)									
ア									
ア	ア	ア	ア	ア					
オ	エ	ウ	イ	ア					
ハ	ハ	ハ	ハ	ハ					
オ	エ	ウ	イ	ア					
					(輕)				
(重)									
ウ					イ				
ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	イ	イ	イ	イ	イ
オ	エ	ウ	イ	ア	オ	エ	ウ	イ	ア
ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ
ヲ	エ	ウ	井	ワ	ヨ	エ	ユ	イ	ヤ
トナル	トナル		トナル	トナル	トナル		トナル		トナル
(オ)					(エ)				
オ	オ	オ	オ	オ	エ	エ	エ	エ	エ
オ	エ	ウ	イ	ア	オ	エ	ウ	イ	ア
モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ
ヲ	エ	ウ	井	ワ	ヨ	エ	ユ	イ	ヤ
トナル	トナル		トナル	トナル	トナル		トナル		トナル

ハニ音ヲ重ヌルトキハニ音ニ分レテサダカニ拗音ニシテ  
 一音ニツヅミルナシ故ニ喉音ノ外ハミナ單行ナルシ 故ニ古言ノナリニ  
 あいゝえおノ音ノ重ナリタル言ハ一ツモアルコト無シ是其明證ニ  
 老肖<sup>オイアエ</sup>ナドノいえハヤ行ノいえナル故ニおゆあゆトモ活用セリ又地名ニ秋  
 田ヲ阿伊太。置賜ヲ於伊太三トアル伊ナドハキノ轉ナレバ今ノ例ニアラズ  
 サテヤ行モわ行モあ行ヨリ生ズル音ナルユエニ三行ニ分ルトイヘド  
 或ハ髣髴トシテ一ツナルガ如ク一ツカト思ヘバ又サダカニ三ツニシテ古ハ  
 混淆スルコトサラニ無リキ然レバ此三行ハ是字音ヲ辨ズルニモ亦  
 緊要ノ事ニヨク會得スベシ 韻學家ニ喉音ヲ論セルコトアレド皆  
 ズミジキ義ヲ知ラザル故ニ皆混雜シテヤ行ハ畢竟無用ノ長物ノ  
 如シ又御國ノ音韻ハ甚悉曇ニ似タルコト多シ然レドヒタスラニ彼法ニヨ  
 リテ是ヲ治スルトキハ又違フコト多シ殊ニ喉音三行ハ吾古言ノ音ヲヨ  
 ク解セル者ニアラズハ其義ヲサトルコトアタハジ



喉音輕重等第圖

		ㄣ	ㄨ	ㄩ	ㄩ	ㄩ	ㄩ	ㄩ	ㄩ	輕
		ㄣ	ㄨ	ㄩ	ㄩ	ㄩ	ㄩ	ㄩ	ㄩ	輕
輕	輕之輕	井	イ	エ	イ	エ	イ	エ	イ	一 ㄩ
重	重之輕	井	イ	エ	イ	エ	イ	エ	イ	二 ㄩ
母		ワ	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	三 ㄩ
重	輕之重	ヲ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	四 ㄩ
重	重之重	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	五 ㄩ
		重之重	輕之重	重之輕	輕之輕					
		重	中	輕						

右ヨリ左へ  
斜ニいへあ  
かゝト下ル  
者是五音  
正位ナリ  
〇一二三四五  
ハ豎横共ニ  
輕ヨリ重  
ニユク序ン

五十連音圖中ニいぬえゑおをノ所属ヲ錯リテ或ハぬヲや行又ノ  
 あ行ニ属シ或ハゑヲあ行や行ニ属スル類多シ惑フコト勿レ若一字  
 モ此所屬ヲ錯ルトキハ三行ノ辨ミナ明ラカナラズ先初ニ是ヲ正シオ  
 クベシサテおハあ行。をハわ行。此事ハ別ニ下ニ委キ辨アリ○音ノ  
 輕重ハ御國言ニ就テハ古來ソノサタモナク無用ノ論ナレド  
 言語ノ輕重ヲ云ルハミナ杜撰ノ臆度ニテ一モ右  
 ノ假字ニ合フコトナケレバサラニ論スルニ足ラズ  
 あいゝゝえおノ音ニ本ヨ  
 リ其次第アル故ニソレニ從ヒテや行わ行ノ音ニモオソヅカラ輕中重  
 ノ料アリ故ニ右ノ圖ニモ是ヲ標セリ字音ヲ辨ルニハイヨク此輕重  
 ニテ假字ノ分ル、子細アル故ニナホ精ク其位ヲサトスコト左ノ圖ノ如シ

俗書ノカナ  
ヅカヒドモニ



喉音ハ三行ナルニ此圖ニ五行ヲ立ル所以ハ初ノ圖ト照シ合せてコ、  
 ロウベシサテ五行ニ分ルトイヘド終ニハ三行ニ歸スル理モ又彼圖ニテ悟  
 ルベシ此支ハナホ下ノ三會サテ如此、輕重ノ位ヲタテくいえあふう等  
 ト次第スルヲハ予ガ臆断ニ似タレド下ニ出ストコロノ字音開合圖ト引  
 合せ見テ實ニ然ルヲ知ベシ抑萬ノ音聲ハあヨリ始マリテ此支ハ梵  
 学家ノ  
常談ナルが信ニ漸々ニ轉セルモノナルが其轉ズルトコロオノツカラ輕ト重  
 然ルコトナリトニ分レクコトナレバあハ輕重五行五位ノ中央ニ在コト必然ノ理ニ且右  
 ノ次第ハ人々ノ口ニ呼試テモ知ル、トシ又古ヨリ傳レル樂家ノ譜ヲ  
 見ルニあ行た行を行行等ノ音ヲ用テ其次第ハ皆右ノ如くいえあ

ふう。ちてとつ。ひへをふ。さきらろと定メテ物ノ音ノ低昂ヲカ  
 タドレリ是五音ノ位ノ自然ト如此ナル故ニ又十行各五音相通スル中ニ  
 初五ト二四ト三五トハ殊ニヨク通スルモ右ノ次第ニテイツレモ其位隣近ナ  
 ルが故ナリ○右喉音三行ノ所由又其輕重ノ次序ナドハ必シモ字音ニ  
 ツキテ云ニハ非ズ御國ノ自然ノ音聲ニ具ハルトコロニ然是即字音ノ  
 假字ヲ辨ル緊要ナルユエニ委女ク論スルモノナリ

おを所属辨

おハ輕クシテあ行ニ屬シをハ重クシテわ行ニ屬ス然ルヲ古來錯リ  
 テをヲあ行ニ屬テ輕トシおヲわ行ニ屬メ重トス諸説一同ニシテ



數百年來イマダ其非ヲ曉<sup>サト</sup>レル人ナシ故ニ古言ヲ解<sup>カ</sup>ニモ此<sup>カ</sup>をニ  
ツキテハ此<sup>レ</sup>彼<sup>レ</sup>快カラザル<sup>コト</sup>アリ又字音ノ假<sup>カ</sup>字<sup>ナ</sup>ヲ辨<sup>ハ</sup>ルニハイヨク舊  
本ノ如クニテハ諸字ノ假字一ツモ韻書ト合<sup>フ</sup>者無ク諸説コ、ニ至テ  
皆窮せり是ニ因テ予年來此假字ニ心ヲ盡<sup>シ</sup>テ近キコロ始テ所  
屬ノ錯<sup>レ</sup>ル<sup>コト</sup>ヲサトリ右ノ如ク是ヲ改<sup>メ</sup>テ驗<sup>ル</sup>ニ古言及字音ノ疑<sup>ハ</sup>シ  
キ者悉ク渙然トシテ氷釋せりマヅ古言ヲ以テイハ<sup>ハ</sup>息<sup>ヲ</sup>於<sup>キ</sup>伎<sup>ト</sup>モ通  
ハシ云コレおハイト同クあ行ノ音ナル故<sup>ニ</sup>又居<sup>ル</sup>ヲ乎<sup>ラ</sup>流<sup>ル</sup>凡<sup>ハ</sup>ヒ多<sup>ク</sup>和<sup>夜</sup>女  
ヲ多<sup>ク</sup>乎<sup>夜</sup>女<sup>凡</sup>ヒ多<sup>ク</sup>和<sup>々</sup>ヲ登<sup>乎</sup>々<sup>凡</sup>ヒ新撰字鏡ニ怙<sup>字</sup>ヲ和<sup>奈</sup>  
奈<sup>久</sup>又乎<sup>乃</sup>々<sup>久</sup>ト註セルコレヲ皆をハわ行ナル故ノ通音<sup>ニ</sup>  
右ノ言トモノ於  
乎ノ假字ハミナ

古書ニ出<sup>タ</sup>レバ論<sup>ナ</sup>シ然<sup>ル</sup>ニ是等ヲタゞあ行トわ行ト通ストノミ意得居ルハソノ  
解<sup>ヲ</sup>得<sup>ズ</sup>レテ強<sup>ク</sup>タル者<sup>ニ</sup>サテ又山城國郡名愛宕<sup>ハ</sup>於<sup>テ</sup>多<sup>岐</sup>阿<sup>多</sup>古<sup>ニ</sup>モ  
阿多古ニモ  
愛宕字ヲ  
甲尾張郡名愛智阿伊知<sup>ナ</sup>本<sup>ハ</sup>阿由<sup>知</sup>ナリ相模郡名愛甲阿由<sup>加</sup>波近江  
郡名愛智衣知<sup>ト</sup>アルコレラ愛字ヲあえおトわ行ノ音ニ通用せり又  
上野郡名邑樂於波良岐因幡郡名邑美於不美石見郡名邑知<sup>ハ</sup>  
於保知遠江郷名邑代<sup>ハ</sup>伊比<sup>之</sup>呂<sup>ト</sup>アルコレラニ邑字ヲイトおトニ用<sup>タ</sup>  
ルモあ行ノ通音<sup>ニ</sup>又凡<sup>テ</sup>一音ノ地名ハ其<sup>ノ</sup>韻<sup>ノ</sup>音<sup>ノ</sup>字<sup>ヲ</sup>加<sup>テ</sup>必<sup>ニ</sup>字<sup>ニ</sup>  
書<sup>レ</sup>例<sup>キ</sup>木國ヲ紀伊トカクガ如<sup>シ</sup>ノ韻<sup>ニ</sup>遠江郷名湄伊出雲郷名斐<sup>ヒ</sup>  
伊和名抄今本伊ヲ甲ト  
誤レリ風土記ニ伊ニ作ル筑前郷名毘伊<sup>比</sup>肥前郡名基肆<sup>木</sup>伊肥後郷名

字三



又神樂サイハラ  
 哥古本ニ長引  
 テウタフ声ニ各  
 其韻ノ安以宇衣  
 於ノ字ヲ下ニ添テ  
 書ルニこそとの不  
 とよろをノ声ニ  
 ハミナ於字ヲ添  
 タリ来子哥ニ安  
 波札衣子者也布  
 苗賀茂能也之呂  
 於乃於此女古於未  
 川ニ与呂川世於  
 不止於毛於以呂於  
 者安可者安良  
 之トアルが如レ是  
 又阿行ノ第五位  
 於ニレテ乎ニハ非  
 一證ナリ

肥伊備中郡名都宇 近江越後ナドノ郷 同國郷名弟勢 薩摩郡名  
 穎娃 江 和泉郷名呼啖 乎。神名 式男ニ作 参河郡名寶飲 徳。今本飲 日向郷名  
 觀啖大隅郡名嚙啖コレラ皆同レ然ルニ呼啖寶飲觀啖嚙啖ナドニを  
 ノ假字ヲ加ヘズレテ皆おニ用ル飲啖等ノ假字ヲ加ヘタル 契沖大隅ノ嚙啖ニ  
 ベキニ啖ヲ書ルハ彼國ノ方言カト云ルハイカ、 凡テ韻ハあいゝえおニ限レルコ  
 和泉ノ呼啖ナドニハ心ツカザリシニヤ  
 トナレバ是又あ行ハおナル明證ナリ 諸國郡郷ノ名ハ和名抄ニ載テ其文字  
 ヨリテ定ニリシニ、 サテ又あいゝおノ四音ハ語ノ中ニ在トキハ省ク例多シコ  
 ナレバイト古シ ハミナ奈良御代和銅神龜ノコロ詔命ニ  
 ハ古言ヲ解セル人ハミナヨク知ルコトシ一ニライハ上ノ連声ニアル韻ハあいゝおイツモ  
 省キテ跡ヲと元ヲ有市ヲち石ヲ志磐ヲえ浦ヲう海ヲみ上ヲへ馬ヲま面ヲん  
 立音ヲと生ヲふ をハ省ク例ナレコレ又おハあ行ニテあいゝト一例。をハわ行ニ  
 ト云タグヒナリ

テ其例ニ非ル故ナリ又歌ニ五モジ七モジノ句ヲ一モジ餘シテ六モジハモジニ  
 ヨムコアル是必中ニ右ノあいゝおノ音ノアル句ニ限レルコトシ えノ音ノ例  
 理ニカアラ ム未考 古今集ヨリ金葉詞花集ナドマテハ此格ニハツレタル歌ハ見エズ  
 自然ノコトナル故ナリ 万葉以往ノ歌モヨク見レバ此格シ千載新古今ノコロヨリ  
 歌多 其例ヲ一ニイハハ源信明朝臣ほのぐとをあそみ月の月乳 キニク  
 ーあそみあそみ心たわいのゆしコレハ四モジアレ也 聞悪カラヌハ餘レ  
 ルモジミナ右ノ格ナレシ又後ノ歌ナガラニ條院讚岐ありあそみあそみあそみ  
 うはあそみてうづくあそみあそみあそみあそみあそみあそみあそみあそみあそみ  
 ニ餘リテハ六モジアリ其中ニ第二句ノ日ハ啖音ナガラあ行ノ格ニ非ル故ニ此

字三首



句ハスコレキ、ニクシ其他ノ四モジハ皆右ノ格シ故ニ多ク餘リタレ耳ニタ、ザ  
ルハ自然ノ妙シ右ノ二首ハ後世ニ字餘リノ例ニ引、哥シ然レモ右ノ定格ノ有ル  
コトヲ知ル人ナレ是ハ予ガ始テ考ヘ出セルトコロシ可秘シ  
然レバオノヅカラニ如此、格ノアルモハあ行ナル一ツノ證シ○次ニ字音ニ  
ツキテイハ諸ノ古書天曆  
以往ニおトをトノ假字ニ用タル字トモヲ考ルニおヲ  
あ行。をヲわ行トスルトキハ悉ク韻書ノ上旨ニ符合ス下ニ々舉タル字  
ノ下ヲ檢テ悟ルベシ着レ舊慣ノ如クをヲあ行。おヲわ行トスルトキハ悉  
ク輕重錯乱シテ一字モ音韻ニカナフ者アルコトナレ○五十連音圖ハ  
モト悉曇字母ニ依テ作レルモノナルガ其由ハ別ニ  
委辨セリ其悉曇ノあいうえおニ  
各短長ノ二音アル其おノ短長ヲ大日經金剛頂經文殊問經及華嚴

續刊定記空海悉曇釋義等ニハ汗奥ニ作り涅槃經ニハ鳥炮ニ作  
リ大莊嚴經ニハ鳥燠ニ作り寶月三藏ハ鷗奥ニ作り難陀三藏ハ于  
奥ニ作り智廣、字記ニハ短奥長奥ニ作レリ安然ノ悉曇藏ニ見エタ  
リカクテ其鳥、字ハ御國ノ古書ニをノ假字ニ用ヒ汗モ又をノ假字ナレバ  
あ行ハナホ舊ノ如クをナルベシト思フ人モアルベケレ凡テ悉曇ノ對譯ノ  
字ニテいゝえあをハ分リ難キコトシイカニト云ニツ同梵音ニ對譯ノ  
字ハ彼ト此ト音ノ異ナルヲ多シ是五天竺ノ風土ノ音ノ異ノミニモ非ズ又  
翻譯者ノ時世郷里ノ音ノ變異ノミニモ非ズ多クハ漢字、音ノ正シク  
梵音ニ當リガタキ故ニ何ゾト云ニ同中天同南天ノ音ヲ同時代ニ傳ヘ



タル書ニテモ對譯、字音ハ一同ナラズ同書ノ内ニテスラ混雜セルモノ尠  
カラズ一ニライハバカノ金剛頂經ニ長、<sup>レ</sup>ニ汗、<sup>レ</sup>引短、<sup>レ</sup>おニモ汗トアル是ニツ  
ハ引ト註シタレボ、<sup>レ</sup>トおトハタゞ引ト不<sup>レ</sup>ルトノ異ノミナランヤ梵音ハ必ズ差  
別アルキヲ同ク汗、字ヲ當タルハ漢字、音ニテ混セル、明ラケレ又大莊嚴  
經等ニハ短、<sup>レ</sup>ニ鳥、<sup>レ</sup>上長、<sup>レ</sup>ニ鳥、<sup>レ</sup>短、<sup>レ</sup>おニモ鳥トアリ空海釋義ニハ長、  
<sup>レ</sup>ニモ汗、<sup>レ</sup>長、<sup>レ</sup>おニモ汗、<sup>レ</sup>長トアリコレラ又長、<sup>レ</sup>ト短、<sup>レ</sup>おト全ク混セリ、<sup>レ</sup>ト  
おトハ豈長短ノ異ノミナランヤ又涅槃經ニハ長、<sup>レ</sup>ニ野、字ヲカキ、口餘ノ  
書ニハ多クヤノ音ニ野、字ヲカケリ是又えトヤト混セリ凡テ梵音ハ如此、  
混雜スヘキヤウナレ悉曇ノ十二音ハ殊ニ正レク分レズハアルベカラズ此、音亂ル、

トキハ生字ノ音モ隨テ皆亂ルベシ然レバ是皆梵音ニ正レク當ル漢字ノ  
得ガタキ故ニ譯者ノ心々ニテ音ノ似タリト思フ字ヲ當タルモノニレテ或ハ上  
声去声或ハ短呼長声或ハ声近、<sup>レ</sup>某字、或ハ鼻声彈舌ナド、サマヅニ  
註セリ又後、人ノ註釋ニモ某、字某々、反本音、某々、及トエヒ或ハ不依  
字ニナドアルモ對譯ノ音ノ梵音ト合ザル故ニ既ニえトヤト混レ、<sup>レ</sup>ト  
おトサヘ混セルウヘハ何ソおトをトヲ分ツコトヲ得シカノ寶月ノ譯ノ鷗、  
字ハお、<sup>レ</sup>ノ假字。字記ノ奧、字ハ、<sup>レ</sup>ノ假字ニテコレラハ共ニ開口音ナレ  
バおニ近クレテをニハ遠ケレバカノ鳥等ニ作ル者ト合ズナホ又慈覺ノ  
記ニハ短ニ於、字ヲ用テ以本郷、音呼、<sup>レ</sup>之ト註シ長ニ奧、字ヲ用タリ他ノ



諸書ニハ多ク短ニハ汗鳥于等ノ字ヲ用タルニ慈覺ヒトリ改テ此於  
字ニ作レルハ三藏ノロニ呼トコロノ梵音ヲ親ク聞テをニ非ズおナルヲ  
辨別ヘタルユエニ御國人ハ其コロモおトをトノ音差別アリテ兒童モ  
オノツカラヨクワキヘツバ彼人ノ聽分レコト勿論ニ以本郷ノ音呼之トア  
ルニテ御國ノあいうえおハおニシテをニ非ルイヨク明ケレ但レ五  
十連音圖ヲ作リシ人ハカノ諸書ノ對譯ノ汗鳥等ノ字ニ依テあ行ニ  
をヲ置シモ知ガタレ又後ニ誤テ入チカヒタルニテモアルベシトヒ作者ノ意  
ニテ本ヨリ然ルニモアレサマウニテハ御國ノ音韻ニ協ハサル上ニ舉タル  
諸證明白ナレバサラニ疑ズキニアラズ其ウヘカノ慈覺ノ於ニ改レヲ思ヘハ悉

曇ノ方ニテモあ行ナルハ真ノ梵音ハおナルヲ鳥等ノ字ヲ以テ譯セシハ  
漢字音ノ正シク當ラザルヲ明ラケキ物ヲヤ

字音假字總論

契沖又和字正濫要畧ヲ著セル中ニイサ、カ字音ノ假字ニ云及セル  
コトアリ其説ニ反切ノ上、字ヲ以テいゝえゑをお等ヲ分ツベシト云ルハ  
誤ニ假字ハ反切ニテ分ル、コトニ非ズ此ハ或人モ既ニ難破セリ契沖ハカ  
バカリノコトヲ考ヘ誤ルヘキ人ニハアラザルヲ是ハ深ク心ヲ用ズレテタゞ一  
ワタリノ理ヲ以テフト定メタル説ト見エテ其證例ニアゲタル字ノ反切  
既ニソノ假字ニ合ズマレテ其餘ヲヤ  
強テ反切ヲ以テ分ントナラバ韻字ニ  
ヨルベシ韻字トハ下字ヲ云喉音ノ



三行ハ韻字ニテ分ル、○或人喉音假名三異辨ト云モノヲ著シテカノ  
 所由ハナキニシモアラズ  
 要畧ヲ破シタルハコトニイハレタリ然レテ其説ニ云、凡字音ノ假名ニ  
 いぬをいぬゑノ三異アレバ其究竟ヲ尋ルニ全ク達例アルニ非ズマタ  
 是ヲ韻書ニ考ルニ憑据スルトコロ無シ然レバタゞ何ノ故ト云フモナク  
 古来傳來タル慣例ナルベクセニハ法則ノアルベキ謂ナシ云々又云日本  
 ノ字音ノ假名唐ノ反切ニ符合スベキ理ナシ各別ノイイカニトイフ  
 ニ唐ノ反切ハ三十六字ノ所屬ニテ切字ヲ定ム喉音ニ影曉匣喻ノ  
 四母アリ各々同シカラズ日本ノ音ノ假名ニハ喉音あゝやノ三ツノミ  
 アリ又其中ニいゝえノ三ツハ兩屬ノ假名ニサテ又あゝやノ三喉音

ニテ唐ノ影曉匣喻ノ四喉音ヲヨムニ似タルモノハ影喻ノ三ニテ匣曉ニツ  
 ハあゝやニ係ラスコレヲ以テ唐ノ反切ト日本ノ字音ノ假名ト各別ノ  
 コトニテ牽強スベカラザルヲ知ベシ以上今按此説理アルニ似タレバ非ナリ  
 是タゞ影曉匣喻トあゝやトヲ引合スルニ合難キヲヲノミ思ヒテ唐  
 ノ反切ト此方ノ字音假字トハ各別ノト謂ヒ韻書ニ憑据スルトコロ  
 ナレト云ル是タゞ字母ニノミ泥ニテ其他ヲ考ヘザルモノシあやわノ異ハ  
 字母ニ係ルニハ非ズ別ニ所由アルコトナルヲ何ゾ深ク尋子ザルヤ今ヨ  
 ク考ルニ古書ノ字音ノ假字悉ク法則アリテ韻書ノ旨ト契合スルコ  
 トナルヲ何ノ故モナクタゞ古ヨリ傳來タルクセシトハイカナル妄説ヅヤ凡



テ近キコロノ學者ニハ此說ノ如キ見解ナル者多シ心スベキコトゾカシ  
○或說ニ字音ノ假字ハ連用ノ音便ニ從テ轉スル<sup>リ</sup>多シ一例ニ定ムカ  
ラズト云モ非ナリ凡テ御國言ニモ字音ニモ音便ニテ假字ノカハル例ア  
ルコトナレ此外モ俗書ドモ云ルコトモアレド凡テ論スルモ足<sup>ラ</sup>ズ○京師ノ  
韻學僧文雄ノ說ニ云ク喉音いぬえををれノ假字古何ニ依ルト云<sup>フ</sup>  
知ガタレトイ<sup>ハ</sup>モ今ヲ以テ准擬スルニ以伊已夷意異等ハ悉ク韻鏡ノ閑  
轉ノ字ニ爲韋委威圍遺謂位等ハ悉ク合轉ノ字ニ又盈衣戲要  
曳愛等ハ悉ク閑轉ノ字ニ惠慧衛會回晝穢等ハ悉ク合轉ノ字  
ニレテ<sup>ツ</sup>モ混雜セル<sup>フ</sup>無シ然レバいぬえハ閑口音ニ用ヒぬえハ合口音ニ用

フベキコト<sup>ハ</sup>ゾ思フサテ此格ヲ以テ計<sup>レ</sup>バをハ閑かハ合ナルベキニをハ共ニ  
合口音ニ屬シテ遠越弘表乎等モ又於穩飲等モ共ニ皆合轉ノ字  
ニレテ差別アル<sup>フ</sup>ナレ返テあノ音ニ用ル憶意等ノ字閑音ニ然レバを  
ハ閑合ニ依ラズ別ニ所由アリテ分タリト見ユ<sup>上</sup>以今按此說甚善レ<sup>ニ</sup>コ  
トニ畢竟ハ閑合ニテ分ル<sup>フ</sup>シ然レモ未<sup>タ</sup>其然ル所以ノ本ヲ明ラメ得サル  
故ニ此說モナホ盡サバ<sup>ル</sup>トコロ多ク且あをノ所屬ノ錯レル<sup>フ</sup>ヲ悟ラサル  
ユ<sup>ニ</sup>此ニ至テ亦窮セリ既ニいぬえハ閑合ニテ分レタル<sup>ニ</sup>あをノ<sup>ニ</sup>其  
格ヲ離レテ別ニ所由アルベキ理ナキモノヲヤ又此三對ハ畢竟ハ閑合ノ  
音ニテ分ル<sup>コト</sup>ニハアレモヒタスラニ韻鏡ノ閑轉合轉ニ從<sup>ヒ</sup>テハナホ違



フト多シ是ニ六種々ノ子細アルトシ委ク次ニ論スルカ如シ○或説ニ云  
 本邦ノ古ノ言語ノ音ニハいぬをふえゑ等差別アリテ必混スミシキ道  
 理モアルベケレビ字音ニハ假名ノ沙汰無用ナルベシイカニトナバ本ヨリ諸  
 ノ韻書ニわやヨニ行ノ差別トテハカツテ無コトナバ彼ト此トアヒカ  
 ナフベキ理モナク又所詮其假名ハイカヤウニ書テモ若シカラヌナレバト  
 カク論スルハ無益ノコトニ<sup>以</sup>今辨シテ云抑古御國言ノ音ニ漢字ノ  
 立音ヲ借リテ書ル是ヲ假字ト云古事記日本紀等ニ歌  
ナドヲ書ルモノ是ナリサテ其言ノ音ニ  
 古ハいぬえゑをノ差別アリシ故ニ彼借用ナル漢字ニモ此差別アリ  
いぬえゑをナドハ本ヨリ分レタル御國ノ音ニテ假字ハ其音ニアテ、定  
メタルモノニ然ルヲ後世人ノ心ニハ假字ニヨリテ分レタルモノト思ヘルハヒカコトニ  
リテ

一ツモ混雜セルトナク甚嚴密ニシテ天曆以往ノ古書ハイヅレモ符ヲ  
 合セタルガ如シ是ヲ以テ觀レバソノカミ必ヨルトコロアリテ定メレト疑ナシ  
 然レバ今トテモ一往考テ韻書ニ無キト云テ是ヲ廢スベキニ非ズ  
 又古既ニ假字ニ用ル字差別アリテ一モ混セザリシウハ凡テノ  
 字音ニ附ベキ假字モ又後俗ニマカセテ<sup>ミタリ</sup>濫ニスベキニアラズカリニ  
 モ古ヲ思ハン人ハ必ウキマヘ正スベキワザシナホイハバ假字ハ即其字  
 ノ音註及切ノ如クナル物ナレバ慎<sup>ム</sup>スハアルベカラズ假令あつノ假字  
 ヲ施スベキ字ニ誤テを<sup>ク</sup>ノ假字ヲ施ストキハ安<sup>ク</sup>等ヲをんトシ  
 惡<sup>ク</sup>握等ヲをくトスルモ同ジコトニカクテモ或人ハナホ可<sup>ク</sup>トせニカ



○御國ニ傳ハルトコロノ漢吳音ハ共ニ古<sub>ハ</sub>ニノアタリ彼國人ノ口ニ呼  
 聲ヲ聞テソレヲ此方ノ音ニ協<sub>カナ</sub>ヘテ定メシモノナレバ 此事委クハ喉音  
 三音考ニ云  
 三行ノ假字モ彼人ノ呼フ聲ニツキテ分チシモノシ但シ彼國ニハモト  
 ヨリ此三行ノ差別ヲ立ザド其呼フ人ハミヅカラ是ヲオボエズトイヘ  
 此方ノ人ノ聞クトコロニ其差別ハアリシ<sub>タトヘバ御國言ノ音ハ平上  
 入ノ四声ヲ論スルナキユニイカ</sub>  
 ナルヲ平声イカナルヲ上去声<sub>ハ</sub>ミヅカラ覺ユル<sub>ナク</sub>レ<sub>ハ</sub>漢人コレヲ聞バカ  
 ナラズソノ聞トコロニハオノヅカラ四声ノ分チアルベキガコトシ  
 然レバ古ノ假字ハ全ク韻書ニ依ル<sub>ナク</sub>又其三行ノ異ハ韻書ノ謂<sub>ハ</sub>  
 ザルトコロナレ<sub>レ</sub>本<sub>ト</sub>彼<sub>ノ</sub>真<sub>ノ</sub>口<sub>ノ</sub>聲<sub>ニ</sub>ヨリテ定メタルモノナレバオノヅカラ是  
 唐以前ノ一家<sub>ノ</sub>韻書ノ如キコトアリ 是故ニ今返テ御國ノ假字ツカヒ  
 ヲ以テ彼國ノ後世韻書ノ訛謬

ヲ正スベキモノアリ 故ニ今諸ノ韻書ト照シ檢ルニ一往ハ合<sub>ヒ</sub>ガタキニ似  
 委<sub>ク</sub>三音考ニ論ス 夕レ<sub>レ</sub>ヨク是ヲ考ルニ<sub>レ</sub>閑合ヲ以テ分ツトキハ悉ク符合スルモノ<sub>シ</sub>  
但レ宋未  
 以後ノ韻  
 書ニハ誤多キユエニ ソモク古ノ假字ハサラニ閑合ヲ以テ分ケタルモノハ非レ<sub>レ</sub>  
 合ハサルコトオホシ  
 自然ト閑合ニテ分ル<sub>リ</sub>理アリ<sub>ニ</sub>ツ<sub>ツ</sub>閑口音ハオノヅカラ輕ク合口音ハオノヅ  
 カラ重シ 此輕重ハ韻書ニ云トコロノ者ニ非ズ御國ノ音ノ輕重ヲ以テ云シ音韻  
 日月燈ニ閑轉所屬字其声單而明故為之閑也合轉所屬  
 字其声駢而渾故為之合也ト云ル此  
 故ニ御國ノ輕キ音ノ假字ニ  
 言御國ノ音ノ輕重ニヨクアタレリ  
 用タルハ皆閑口音ノ字重キ音ノ假字ニ用タルハ三ナ合口音ノ字ナリ  
 サレ<sub>レ</sub>今モ此格ヲ以テ御國ノ音ノ輕重ト字音ノ閑合トヲ引合  
 テ諸ノ字音ノ假字ヲ定ム<sub>レ</sub>其御國ノ音ノ輕重ハ上ニ出セル輕



重等第圖ヲ以テ考ヘ知ベク ナホ下ニ  
未女ク云 字音ノ閑合ハ韻鏡ニ依テ

定ムベシ 韻書多シトイヘ尺竹簡ニシテシカモ詳ニ且サトリヤスキコト韻鏡ニ及モノナ  
シ此書ハ唐末ニイデキタルシト或人ノ云ルマコトニサモアルベシ然レバ此方ニ

古假字ヲ定メシ時ヨリハ後ノ書ナレバイサカモ古ノ音韻ヲ誤レルナケレバ全クヨリドコロトスルニ足レリ 但此書今ノ諸本閑合

異同アリテ一定セズ故ニ今是ヲ考定ムルコト如尤 第一轉合 一本ニ閑  
トスル非 第

二轉合 一本ニ閑合  
トスル非 第四轉閑 閑合トスル  
本ハ非 第八轉閑 一本ニ合ト  
スル非 第十一

轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第十二轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第十三轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第十四轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第十五轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第十六轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第十七轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第十八轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第十九轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第二十轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第二十一轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第二十二轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第二十三轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第二十四轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第二十五轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第二十六轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第二十七轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第二十八轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第二十九轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第三十轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第三十一轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第三十二轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第三十三轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第三十四轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第三十五轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第三十六轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第三十七轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第三十八轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第三十九轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第四十轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第四十一轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第四十二轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第四十三轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第四十四轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第四十五轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第四十六轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第四十七轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第四十八轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第四十九轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第五十轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第五十一轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第五十二轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第五十三轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第五十四轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第五十五轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第五十六轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第五十七轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第五十八轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第五十九轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第六十轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第六十一轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第六十二轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第六十三轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第六十四轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第六十五轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第六十六轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第六十七轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第六十八轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第六十九轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第七十轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第七十一轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第七十二轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第七十三轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第七十四轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第七十五轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第七十六轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第七十七轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第七十八轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第七十九轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第八十轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第八十一轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第八十二轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第八十三轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第八十四轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第八十五轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第八十六轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第八十七轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第八十八轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第八十九轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第九十轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第九十一轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第九十二轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第九十三轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第九十四轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第九十五轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第九十六轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第九十七轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第九十八轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第九十九轉合 一本ニ閑ト  
スル非 第一百轉合 一本ニ閑ト  
スル非

世八轉閑 或ハ閑合トシ或ハ合  
トスル本ニナ非ナリ 第卅九第四十第四十一轉皆閑 皆合  
トス

ル本ハ其餘ハ諸本同ニサテ右ノ如ク閑合タガヒニ誤レル中ニ閑ヲ誤リテ

合トセルガ多キハ後世ノ韻書ニ依テ私ニ改メタルモノ 隋陸法言カ切韻  
序ニ古今ノ声調

既自有別諸家取捨亦復不同吳楚則時傷輕淺燕趙則多涉  
重濁ト云ルガ如ク大抵北方ノ音ハ重シ然レテ漢土後世ニハ北人多ク入り  
雜レル故ニソレニウツリテ人ノ音声次第ニ重濁ニナレルニヨリテ右ノ  
閑口音ノイットナク合口音ニ変ジタルガ多キヲ後世ノ韻書ハタゞ當時ノ  
音ニヨリテ定タルモノナル故ニ閑合モナニモ古ノ音韻トタガヘルヲ多ク然ルヲ  
世ノ韻學者此義ヲワキマヘズタゞ其呼法ヲ論ジタルノ精密ナルニヨヒ  
テ是ヲ信ジ其書ヲ證トシテミダリニ韻鏡ノサテ又心得ベキコトアリ  
閑合ヲ改メタルハ返リテヒガコトナリナリ 有右由久丘流等ノ字漢音  
いうきうのハ閑音ノ少  
漢音ト吳音トニテ閑合ノカハルヲアルヲ 有右由久丘流等ノ字漢音  
いうきうのハ閑音ノ少  
くるハ合音 韻鏡等ハタゞ漢音ヲ以テ定メタルモノニシテ吳音ニハカ  
ナルガゴトシ 有右由久丘流等ノ字漢音  
いうきうのハ閑音ノ少  
カハラス然ルニ御國ニハ漢吳ヲ並ヘ用ラル中ニ古ノ假字ハ多クハ吳  
音ヲ用タル故ニ漢吳ノ異ニテ韻鏡ノ閑合ト合ザルヲモマアルニ  
是ハ一其字ノ下 又實ハ拗音ナルヲ直音ニ轉ジタルニテ閑合ノ變ル  
ニコトワルベシ



コトモ又多シ此事ハ下ニ如此種々ノ子細アル故ニタゞ韻鏡ノウヘハカリ

ニテモ濟スミカタシ

故ニ今是ヲ圖

ニアラハレテ詳ニ

字音ノ開合ヲ

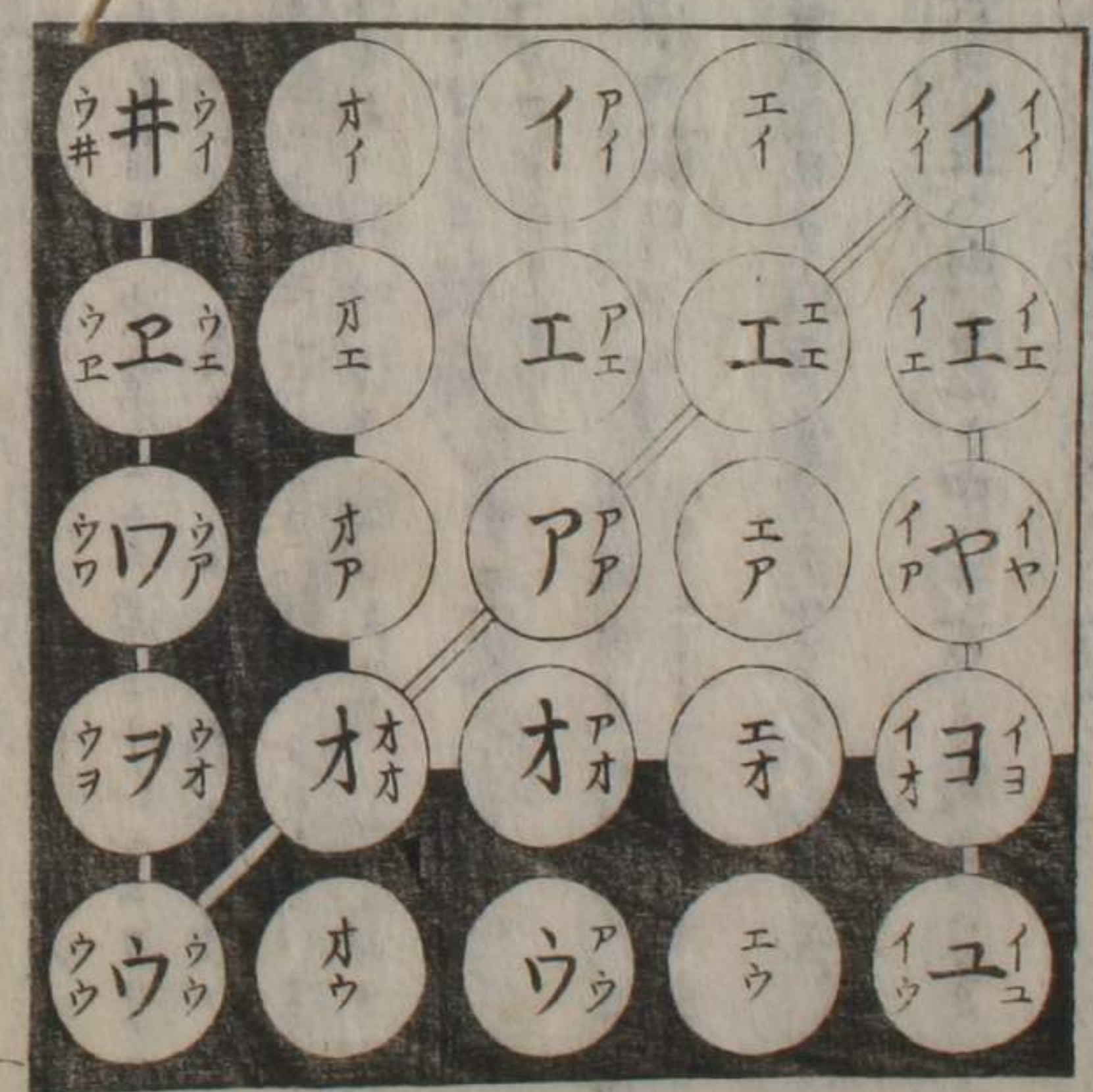
決ス○御國ノ

音ノ輕重ノ位

ニ任セテ開ト合

ト等分ニスレバ

字音開合指掌圖



開

合

正レク此圖ノ如クニナルニ上ノ輕重等第圖ト考合スベシ

○右圖中白位ニアルモノ是開音。黒位ニアルモノ是合音。白黒ノ交際ニア  
 ルモノハ開合ニ涉ル音ニ○九テ二十五音等分レテ開音九ツ合音九ツ開合  
 音七ツノありノいえトヤ行ノいえト同字ナルハ共ニ開音。あ行ノリトヤ行  
 ノリト同字ナルモ共ニ合音ナル故ナリ是ニテモ假字ハ開合ニテ分ツベキヲ知  
 ベレ○いぬえあをノ三對ノ中ニイトハ第一行ト第五行トニ在テ中ニ  
 三行ヲヘガテイトハ第二行ト第五行トニ在テ中ニ二行ヲヘガテ、共ニ  
 其位相遠キ故ニ此ニ對ハ分レヤスレハトハ第四行ト第五行トニナラ  
 ビ在テ其音相近クソノウヘハモ全開ニ非ス開合ニ涉ルユエニ此一對殊ニマ  
 ギレ易キ所由右ノ  
 圖ニテ明ラケシ

右ノ圖ト韻鏡ノ開合トヲ引合セテ字音ノ假字ヲ定ムベシ其中ニ合ナルモノアルハ上ニ云ル

子細ドモアル故ニサテ此圖ハタゞ喉音ノミヲ著ハストイヘハ餘ノ牙齒唇舌

齒諸音モ皆此例ニ從フコトきやーや等ハいやニ同クきよまよ等ハいよニ同シク  
きぬーぬ等ハいゆニ同クくぬまぬ等ハうぬニ同シク



第一會

音		直		音		直	
合	開	開	合	開	開	合	開
<b>オ</b>	<b>エ</b>	<b>ウ</b>	<b>イ</b>	<b>ア</b>			
オム	エム	ウム	イム	アム	オウ	エウ	ウウ
オム	エム	ウム	イム	アム	カウ	ケウ	クウ
オム	エム	ウム	イム	アム	サウ	セウ	スウ
オム	エム	ウム	イム	アム	タウ	テウ	ツウ
オム	エム	ウム	イム	アム	ナウ	ネウ	ヌウ
オム	エム	ウム	イム	アム	ハウ	ヘウ	フウ
オム	エム	ウム	イム	アム	マウ	メウ	ムウ
ヨ	エ	ユ	イ	ヤ			
ロム	レム	ルム	リム	ラム	ラウ	レイウ	ルウ
ヲ	エ	ウ	井	ワ			

十九

字音

下ニ載ル三會圖ノ如シ就テ考ベレサテ右ノ圖ヲ以テ  
 いぬえあをノ六音三對一サレク開合ニテ分ル、所以ヲ曉悟スベシ又ソ  
 ノ中ニおノ一音開合ニワタル下ノ於<sup>オ</sup>飲等ノ字ノ下ニ辨ズルト合セ考ベシ

○字音假字三會圖說

上ノ三行分生圖及開合圖等ニ准ゼバ此ニモ五會圖アルベキヲ其  
 ニツラ欠テ三會ナルハイカニト云ニえおノニツニヨル拗音ハ字音ニ用ナ  
 ケバ<sup>レ</sup>其故ハ<sup>レ</sup>輕中<sup>レ</sup>重ハ<sup>レ</sup>重中<sup>レ</sup>輕ナルユエニハ<sup>レ</sup>重中<sup>レ</sup>重ノ<sup>レ</sup>  
 撮シ<sup>レ</sup>ハ<sup>レ</sup>輕中<sup>レ</sup>輕ノ<sup>レ</sup>撮シテ別ニ此ニ音ニ屬スル字音ハ無キユエニ  
 悉曇家ニモ<sup>レ</sup>えハ<sup>レ</sup>いニハ<sup>レ</sup>うニ撮スルアリ自然ニ符合セリ又連声ノ便ニ  
 ヨリテ諸<sup>レ</sup>字<sup>レ</sup>ハ<sup>レ</sup>韻ハ<sup>レ</sup>えト聞エ<sup>レ</sup>ク韻ハ<sup>レ</sup>トキユルヲ多シ京師ハ<sup>レ</sup>え  
 一榮華ハ<sup>レ</sup>え<sup>レ</sup>ト聞エ東ハ<sup>レ</sup>お公ハ<sup>レ</sup>ン<sup>レ</sup>トキユル  
 タグヒシコレラモ<sup>レ</sup>えハ<sup>レ</sup>いニ親シクおハ<sup>レ</sup>うニ親シキユエナリ



會三第

音 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ウ</span> 拗				
合	合	合	合	合
ヲ	エ	ウ	井	ワ
ウ	エ	ウ	井	ワ
クヲ クヲム	クエ クエム	クウ	ク井 ク井ム	クワ クワイ クワム
スヲ スヲム	スエ スエム	スウ	ス井 ス井ム	スワ スワイ スワム
ツヲ ツヲム	ツエ ツエム	ツウ	ツ井 ツ井ム	ツワ ツワイ ツワム
ヌヲ ヌヲム	ヌエ ヌエム	ヌウ	ヌ井 ヌ井ム	ヌワ ヌワイ ヌワム
フヲ フヲム	フエ フエム	フウ	フ井 フ井ム	フワ フワイ フワム
ムヲ ムヲム	ムエ ムエム	ムウ	ム井 ム井ム	ムワ ムワイ ムワム
ヲ	エ	ウ	井	ワ
ルヲ ルヲム	ルエ ルエム	ルウ	ル井 ル井ム	ルワ ルワイ ルワム
ウヲ ウヲム	ウエ ウエム	ウウ	ウ井 ウ井ム	ウワ ウワイ ウワム

長之音直

二十

會二第

音 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">イ</span> 拗				
合開	開	合	開	開
ヨ	エ	ユ	イ	ヤ
イヨ	イエ	イユ	イイ	イヤ
キヨ キヨム	キエ	キユ キユム	キイ	キヤ キヤム
シヨ シヨム	シエ	シユ シユム	シイ	シヤ シヤム
チヨ チヨム	チエ	チユ チユム	チイ	チヤ チヤム
ニヨ ニヨム	ニエ	ニユ ニユム	ニイ	ニヤ ニヤム
ヒヨ ヒヨム	ヒエ	ヒユ ヒユム	ヒイ	ヒヤ ヒヤム
ミヨ ミヨム	ミエ	ミユ ミユム	ミイ	ミヤ ミヤム
イヨ イヨム	イエ	イユ イユム	イイ	イヤ イヤム
リヨ リヨム	リエ	リユ リユム	リイ	リヤ リヤム
井ヨ	井エ	井ユ	井イ	井ヤ

音直于混

長之音直

字音



右三會圖上ノ三行分生圖及ニ開合指掌圖ト相照シテ考ベシサテ第  
二會ノ上ニ<sup>三</sup>第三會ノ上ニ<sup>四</sup>ト標スルハヤイゆえヨニ属スル諸拗音ハ各  
上ニ<sup>五</sup>き<sup>六</sup>ち<sup>七</sup>ふ<sup>八</sup>ひ<sup>九</sup>み<sup>一〇</sup>い<sup>一一</sup>ア<sup>一二</sup>ノ音ヲ帶テ是皆ハニ属スル音。之<sup>一三</sup>の<sup>一四</sup>う<sup>一五</sup>ゑ<sup>一六</sup>と<sup>一七</sup>ニ属  
スル諸ノ拗音ハ各上ニ<sup>一八</sup>く<sup>一九</sup>む<sup>二〇</sup>つ<sup>二一</sup>ぬ<sup>二二</sup>ふ<sup>二三</sup>む<sup>二四</sup>る<sup>二五</sup>ノ音ヲ帶テ是皆ハニ属スル音  
ナレバナリサテ第一會ハ直音ナレバ此例ニ非ストイヘ上ノ分生圖ト  
引合セテ考ルニ便リアラシメン為ニ是レモレ<sup>二六</sup>ラ<sup>二七</sup>ク<sup>二八</sup>ア<sup>二九</sup>ト標セリ

右三會ノ字音都テ九十六

國中ナル者ヲ除ク

又各音ノ左右ニ細書スル者モ皆コレ

字音ニシテ

入ト書ルハ入声ノ音ニタトヘバ第一會あり音ノ下ナルハあくあつあふ等  
ノ音ノ下ナルハえきえつ等ナリ第三會モ是ニ准テ心得ベシ

天下ノ漢吳音ヲ括盡セリ○第一會ノ諸音ハあ<sup>一</sup>い<sup>二</sup>う<sup>三</sup>え<sup>四</sup>か<sup>五</sup>ニ属シテ  
皆直音ニサテ其中ニ不雅ナル者ハ通音ニ轉ジ呼例ニ不<sup>ホキシ</sup>甫<sup>六</sup>鳩<sup>七</sup>反<sup>八</sup>婦<sup>九</sup>  
房<sup>一〇</sup>久<sup>一一</sup>反<sup>一二</sup>ニ共ニ漢音<sup>一三</sup>シ<sup>一四</sup>ノナルヲふト呼ヒ問<sup>一五</sup>ハ亡<sup>一六</sup>運<sup>一七</sup>反<sup>一八</sup>吳音<sup>一九</sup>む<sup>二〇</sup>ん<sup>二一</sup>ナルヲ  
んと呼ヒ嫩<sup>二二</sup>奴<sup>二三</sup>困<sup>二四</sup>反<sup>二五</sup>吳音<sup>二六</sup>の<sup>二七</sup>ん<sup>二八</sup>ナルヲかん<sup>二九</sup>ト呼ヒ腹<sup>三〇</sup>ハ弗<sup>三一</sup>鞠<sup>三二</sup>反<sup>三三</sup>む<sup>三四</sup>く<sup>三五</sup>ナルヲ

ふくと呼フ此類ナホ多シコレヲ反切ニカナハズトテ訛ント思フ反テ右ヲ知  
サル者ゾ凡テ鄙俚ナル音ハ嫌ヒテ故ニ轉ジテ定メシモノシ但ニ開合ヲ分ツ  
ニハ凡テ轉ジタル音ニハヨラス反切ヲ考テ本音ニヨルベシ右ノ不<sup>三六</sup>婦<sup>三七</sup>等<sup>三八</sup>字<sup>三九</sup>ノ如キ  
モハ合音ナレ本音<sup>四〇</sup>シ<sup>四一</sup>ハ開ナルユニ韻鏡開轉ニ收セリ第二第三會  
拗音モ是ニ准テ心得ベシ○第二會ノ諸音ハヤ<sup>四二</sup>い<sup>四三</sup>ゆ<sup>四四</sup>え<sup>四五</sup>よ<sup>四六</sup>ニ属シテミナ拗  
音ニ凡テ拗音ハモト御國ノ音ニ非ズシテ多クハ不雅ナルガ故ニ<sup>四七</sup>異國<sup>四八</sup>ニテハ雅  
ニテハ不雅ニ故ニ古言<sup>四九</sup>直音<sup>五〇</sup>ニ轉ジ呼フ者多シ第二會ノ中ノ音ニテ其例ヲ  
ニ拗音アルコトナシ<sup>五一</sup>少<sup>五二</sup>イ<sup>五三</sup>ハ<sup>五四</sup>俱<sup>五五</sup>字<sup>五六</sup>ハ舉<sup>五七</sup>朱<sup>五八</sup>反<sup>五九</sup>ミ<sup>六〇</sup>キ<sup>六一</sup>め<sup>六二</sup>ナルヲく<sup>六三</sup>ト呼ヒ縷<sup>六四</sup>ハカ<sup>六五</sup>主<sup>六六</sup>反<sup>六七</sup>ミ<sup>六八</sup>め<sup>六九</sup>ナルヲ  
呼フ韻鏡第十二轉<sup>七〇</sup>第三等ノ諸字ミナ此例ニ又第一轉ノ風<sup>七一</sup>字<sup>七二</sup>ハ方<sup>七三</sup>戒<sup>七四</sup>反<sup>七五</sup>



びゆゝナルヲあうト呼ビ豊立モ芳馮又敷弓反びゆゝナルヲやうト呼ブ又  
 允尹ハ共ニ余準反いゆんナルヲゆんト呼ビ  
之允反准。食尹反盾。思尹反  
筍コレヲミテ允尹ノ本音いゆん  
 ナル一イヨ 倫ハカ逸又カ遵反アゆんナルヲアゆんト呼ビ律ハ呂邱又カ出反  
イヨ明ケシ  
 アゆりナルヲアうト呼ビ聿ハ以出反いゆりナルヲいつト呼フ第十八轉第  
 三四等皆此例シ  
其中ニ古音齒音 又第二轉ノ幪ハ房玉反漢音びゆく  
 ナルヲぶくと呼ビ第一轉ノ宿ハ思六又息逐反ナルニ志ゆくノ音ナレハ志く  
トスルハ返 六ハ實ハアもく逐ハちめくシ叔モ式竹反ニテ志ゆくナレハ竹モ實  
テ誤ナリ  
 ハラめくシサテ育ハ余六反いゆく菊ハ居六反きゆく福ハ方六反びゆく  
ヨリユクシ  
 目ハ莫六反びゆくシ此類ナホ多シ餘モ右ノ字ドモニ准ヘテイヅレモ其韻字ト

反切ノ下字 歸納ノ音トヲ相照シテ本拗音ナルヲ直音ニ轉ジタルヲ悟ル  
ヲ韻字ト云  
 ベシ又漢音ト呉音トニテ拗直ノ轉換スルヲ多シ香字漢きやう呉か  
 行字漢かゝ呉きやうノ類シ又常ニハ拗音ノマニ呼フ字ヲ歌書ニテ直立音ニ  
 云ル者多シ精進ヲまじし脚病ヲかくびやノ病者ヲむらゝび修行者ヲまじ  
 きやうざ受領ヲどらう宿世ヲまじせ從者ヲむらゝ大呪ヲたいど大乗ヲ  
 ぶいどろ 祇羨ヲまじろ 誦スルヲむじスルト云々グヒシ  
○或向云ク上ノ三行分  
生図ニヨラハヤハ即いあ  
 ゆハ即い。よハ即いおナレバ上ニ又イヲ加テいやいゆいよトハ書ベカラズ若シイヲ加ハハ  
 あい。いおトコソ書ベキニ第二會図ニいやいゆいよトアルハイカハ答云コトニ然リ故  
 ニいやいゆいよノ音ハイヅレモイヲ省キテアヤゆよトノミモ書シ但シ此類音イツモミヤ  
 志ヤ等ト書テキあ志あ等トハカスきめ志あ等ト書テきう志う等トハ書ズきよ  
 志よ等トカキテきあ志か等トハカサル例ニヨルニ喉音モいやいゆ  
いよト書サルコトアハズ己のうゑをノ拗音モ是ニ准ヘテサトルベシ  
○第三會圖ノ







鳥禾反ニテうゝし半舌齒音ノ羸ハ落戈反ニテるゝしサテ其上声去声モ同  
 シ格ニテ跛ハ布火反ニテふゝし磨ハ亡果反ニテぶゝし坐ハ祖果又疾臥  
 反ニテまゝし播ハ補過反破ハ普過反ニテ共ニふゝし座ハ祖臥反ニテまゝし  
 又第卅轉ノ諸字モ此例ニサテ第卅二轉ハ光荒黃ナドノ例ニテ其横ノ傍ハ步  
 光反ニテふゝし汪ハ鳥光反ニテうゝし又第十四轉ノ杯ハ布回反ニテ  
 ふゝし頽ハ杜回反ニテたゝし崔ハ才回反推ハ在回反罪ハ祚隗反ニテミナ  
 まゝしナリ雷ハカ回反ニテるゝし故ニ胡雷反隈ハ鳥恢反ニテうゝし其  
 餘ノ字モ准ヘ知ベシ第十六轉モ此例ニ又第廿四轉ノ盤ハ薄官反ニテふゝし  
 端ハ多官又都丸反ニテはゝん暖ハ乃管反ニテ具音ぬゝん酸ハ素官反

ニテまゝしん挽ハ鳥管反ニテうゝん卯ハ盧管反ニテるゝんナリ又潑ハ普  
 活反ニテふゝし奪ハ徒活反ニテはゝん撮ハ倉括反ニテまゝし將ハ即活  
 反ニテるゝしナリ第卅六轉ノ赫ハ查獲反撼ハ砂獲反ニテ共ニまゝしナ  
 リ以上ハわ次ニ第五轉腫緝吹垂髓睡羸等ノ例ニテ跛ハ彼為反彼ハ  
 補糜反ニテふゝし鳩ハ居為反規ハ居階反偽ハ危睡反ニテ共ニくゝナリサテ  
 是為反垂旬為反ス隨力為反ル羸息委反ス髓力委反ス累ナレバ為委ハ  
 共ニくゝし第七轉第十轉モ此例ニサテくゝしスはゝんスぬゝスふゝス  
 くゝスぬゝスるゝスぬゝスノ音ハ本音ノスニ呼フ字一ツモ無レバ考スキ由ナレ  
 トイヘス若ハ第一轉ノスぬゝスちゝス等ノ音本スコレニ近キカスうゝんスくゝん



等モ考ヘガタシ是ハ第十八轉ノちゆんきゆんちゆんいゆんこゆん等ノ音  
 近キカサテうぬくくぬく等ハ是又第一轉ノひゆくちゆくきゆくちゆ  
 くいゆくこゆく等近クくぬりくぬり等ハ是又第十八轉ノちゆつまる  
 つちゆいゆりこゆり等近キ歟猶考ヘシ以上内行ノ音ナリ 次ニ第卅轉花華化  
 等ノ字ノ吳音ヲくゑト云ル例アル如ク此轉ノ吳音ハ凡テはゑんくゑんくゑん  
 ちナリ第十四第十六轉ノ吳音モ同ジサテくゑんくゑんくゑん等ハ考ヘガタシト  
 云ハ第卅四第卅六轉ノ第三等四等ノ吳音コレナルベシくゑんくゑん等ハ第二十二  
 十四轉ノ第三等第四等ノ諸字コレシくゑんくゑん等ハ第二十二  
 轉ノ源字音元 第卅四轉ノ眷字ヲくゑんト云ル例ニテ此二轉ノ第三第四

等ノ諸字コレナリ又其入聲即ふるゑんはゑんくゑんくゑん等  
 つぬちゆナリ以上内行ノ音ナリ 次ニ第十二轉ノ第一等ノ諸字ふるゑんくゑん  
 ちをくゑんをくゑんノ音ニサテ第四十三轉ノ泓ハくゑんノ肱莞弘ハくゑん  
 第十八轉ノ第一等ト第卅二轉ノ第三等ノ吳音トコレくゑんくゑん等  
 ナリ但レオハ二轉ノ音ノ吳音ハ皆くゑんト轉ジ呼フサレ元ハ愚表反及 ちゆ音  
 願ハ魚怨及ナルヲ以テ元願ナドモ本音ハくゑんナルコトヲ知ルベシ  
 等ハ第十八轉ノ第一等入 第卅二轉ノ第三等入ノ吳音ト是ナリコレモオハ二  
ハをちゆト轉ジ呼ヘ越ノ吳音ノをちゆナルヲ ちゆ音  
以テ実ハをちゆナルコトヲサトルベキナリ くゑんくゑん等ハ第四十三轉ノ  
 第一等入 是ナリ以上内行ノ音ナリ 右内行を行ニ属ス諸ノ拗音ハ本音ノ、ニ呼  
 モノ無レバ是ヲ證スベキ由ナキニ似タレ既ニわ行内行ノ諸音ノ例アレハソレニ



准ジテ此二行ノ諸音モ必<sub>ス</sub>實ハ右ノ如クナルベキ理<sub>リ</sub>疑<sub>ヒ</sub>ナシサテ上件諸ノ拗音  
多クハ直音ニ轉ジ呼フ故ニカノ開合圖ト韻鏡ノ開合ト合ザル者多キガ  
如クナレド右ノ如ク本音ニ返シテコレヲ考ルトキハ一ツモ合ザル者無シ

凡例

○假字ヅカヒ片假字ノイハ平假字ノイナリ。井ハハナリ。エハエハナリ。  
エハエナリ。オハオナリ。ヲハヲナリ。是ハ童蒙ノタメニ云

○各音ノ下ニ圍中ニ書スルハ其下ニ舉ル諸字ノ韻ニ但シ平声ノ韻ヲ  
標ノ上声去声ノ字ヲモ其下ニ攝ス音韻ヲ論ズル處モ同ジ是レ四  
声ノ差別ハ假字ヅカヒニ用ナキ故ナリ

○假字ノマギルコト無キ音ノ字ハ舉ルナシ又マギルモ悉クハ舉ガ  
タケバタ<sub>タ</sub>日用ノ近キ字ノミヲ出ス餘ハ同韻ノ例ヲ以テモ推テ知  
ベク又大氏ハ同傍<sub>オトシツク</sub>ナドノ例ニテモ違ハズ<sub>イ</sub>怡<sub>イ</sub>怡<sub>イ</sub>同ジク<sub>井井</sub>唯<sub>井</sub>唯<sub>井</sub>同ジキ  
ガゴトシ

○漢ト云ハ漢音吳ト云ハ吳音ナリ

○清音濁音ハ一ツニ雜ヘテ舉ク假字ニマギレナケバシ假字ノマギル  
濁音ノ字ハ別ニ卷末ニ出セリ

○音ヲ論ズルニ漢土ノ韻書ヲ引ズレテ<sub>ツキ</sub>毎<sub>ツキ</sub>御國ノ古書ヲノミ引テ是ヲ  
證スルユエハ此書ハモトヨリ音ヲ辨スル書ニ非ズタゞ其假字ヲ辨ズル



書ナルカ假字ハ全ク御國ノ古書ニ據ヨラズハアルベカラザルガ故シ

○いぬ之假字

い

伊以異怡易已移夷肄以上九字古書ニ 貽 飴 詒 倚いノ假字ニ用タリ

猗 姨 頤 圯 彝 醫 矣 意 懿以上廿二字 漢吳共ニイ 衣 依 辰以上三字 吳ハニ

○右ノ字皆開口音ニテ韻鏡開轉ニ属ス

ぬ

爲 韋 位 威 謂 涓 偉 委 萎 尉以上十字古書ニ 惟 維 唯ぬノ假字ニ用タリ

帷 遺 透 恚 洧 鮪 違 圍 圍 慰 畏 胃 彙 緯 葦

○右ノ字皆合口音ニテ韻鏡合轉ニ属ス 一本ニ帷字ヲ第六開 轉ニ載タルハ非ナリ

い

尤

尤 郵 幽 憂 優 由 油 抽 游 遊 猶 猷 攸 悠 酉

卣 誘 宥 囿 又 友 右 祐 皆漢ナリ 吳ハイ 或ハイウシ。幼字モ 此ノ音ナルベケレドモ常ニえノト呼フ

子音ナリ



○右開音ニテ開轉ニ屬ス

いぢ

ゆ

東雄熊融彤

以上漢之呉ハいぢカニナルベシ  
雄ハ常ニ呉をノト呼フナリ

鍾用勇邕

以上呉之漢ハいぢ

遇裕

此字ハいぢノ音ナレドモ  
常ニいぢト引テ呼

○右合音ニテ合轉ニ屬ス但しやいぢいよノ音ハ開合ニカハラス皆い

假字ナル例ニ上ノ圖ニ

テ考ベシ

○此音いヲ省テゆハ書ベシゆハ昂いゆナレバ

いぢ

ゆ

右

由油抽游遊猶猷攸悠酉誘

以上呉之漢ハいぢ

虞愈逾喻瘡庾史裕

○右合音之虞韻ノ者合轉ニ屬ス尤韻ノ者開轉ニ屬スル漢音ニ

ヨルガ故ニ○此音ノ中ニ尤韻ノ者ハいぢゆト引テ書モアレカラス虞韻

ノ者ハ引ベカラスサド常ニ引テ呼フ字モアリ

い

入聲

緝邑挹揖熠

○右開音ニテ開轉ニ屬セリ

○日本紀ニ出雲ノ言屋社トアルヲ三代実録ニ揖屋神延喜式ニ揖  
夜神社トカキ又和名抄ニ播磨郡名揖保伊比保薩摩郡名揖宿  
以夫須岐遠江郷名邑代伊比之品ナトアル皆ハノ假字ヨクカナヘリ

○凡テ入声ノ韻ハノヲ書ズシテふヲ書例ニ其證ハ右ノ揖夜又志摩  
郡名万葉ニ手節トアルヲ答志一カキ近江郡名甲賀ヲ天武紀ニ鹿  
深トカレ備後郡名甲奴加不乃讚岐郷名入野尔布乃也ト見エ  
杏葉行衣布半挿ヲ波迹佐布ト和名抄ニ見エタリ其外モ相模ノ



五三音

郡名愛甲アユカハ阿由加波佐渡郡名雜太サハダ佐波太肥後郡名合志加波志薩  
摩郡名給黎岐比キヒ礼レトアルコレヲモ甲雜合給等字ノ韻ヲいひふへ  
不ニ通用タリ是モふヲ書ベキ證シ又万葉ニタニタフト云言ニ絶塔タタトカ  
キ和名抄ニモ塔ヲ太布トアリサニツラフヲ雜豆臘トカキ拾遺集物名ニ四十九日ヲ  
隠シテオノカシ、フクニ散ヌルトヨメル是ヲモ塔ハふ臘ハラハ十八ハふ  
ノ假字ニトリ但シ和名抄ニ玄番察ヲ保守ホウシ之万良比止乃豆加佐サ法師客ノ  
意ナリト見エ夾纈カウヲ加字カ介知トアレハふトモ書ベシト思フ人モアルケレドモ  
是ハ正シキ音ニ非ズ轉ジテ云ルニタトハ緑衫之袍ロクサンヲロウサウノウヘノ  
キヌト伊世物語又榮華物語云ルト同例ニ是ヲ證トノ緑ロクヲろノ音  
殿上花見卷ニ見ユ

トハシガタキガ如シ

い や う

やう同

陽

陽揚揚煬瘍羊洋洋佯痒養樣恙

央 清 影 瓔 永

以上三字ハ兵ナリ漢ハい

○右閑音ニテ閑轉ニ属ス太、永

字ハ合轉ニ属スレハ閑音ノ例ナルトいハノ音ノ下ニ云カ如シ○陽揚養  
等ノ字古書ニヤノ假字ニ用タリ又和名抄ニ陰陽ヲ於オム午夜守トアリ

い よ う

とく同

鍾

用甬勇備踊容蓉庸雍擁邕癰

以上漢ニ蒸膺鷹鳥蠅乃孥○右鍾韻ノ者ハ合轉蒸韻ノ者ハ閑  
呉ハい

轉ニ属スル音ナルカ故ナリ ○用容庸ヲ古書ニトヨリ假字ニ用タリ

い ひ

真 因 姻

茵 氤 寅 湮 禋 印 引 蚓 胤 欣

殷 愍 隱

字音



以上三字漢  
ナリ吳ハハハ

**侵**

音飲陰陰

以上四字漢  
ナリ吳ハハハ

淫姪

○右開音開轉

○和名抄ニ因幡イナハ以奈イナハ八ハ古事記ナドニ遠江トアルヲ郡名引佐イナサ伊奈佐ト見エ古

事記ニ印惠イニエ崇神天皇御名トアルヲ日本紀ニ五十瓊殖イニエトカキ播磨郡名印

南イナ伊奈美ミ稲日イナヒ氏書トアルヲイイ假字ヨクカナヘリ

**おひ** 諄 尹 允 勻 筠 眞 韻 殞 隕 仙 員 院

○尹允勻筠四字ハ實ハいゆひノ音ナルヲ直音ニ轉ジタル者ニ上ノ圖説ニ云ルガ如シ

サテ轉ジタル直音ノ假字ハ他ノ例ニヨレバいひナレハ是ハ姑クおひト定ム

其故ハ元日宴會儀式ニ大臣宣侍座ルニキサシトト云コトアリ是ヲ北山抄シキ之支

尹イムトカレ江次第シキキムニモ敷尹トカレタル尹ハ借是レおんノ假字ニテ合リ韻

鏡ニモ合轉ニ属セリ韻殞隕モ疑ヒアレハ姑クおんト定ムサテ員ハ圓ト

同音ニテ王權反又胡拳反クククイツレニテモおんノ音ニ又平軍反クククニテもん

ん吳ノ音ハアリ伍子胥ガ名ノトキ音運ナリ然レハおんノ音ハ諸韻書

ニ見エズ但レ韻鏡第二十轉ノ諸字訓シハ許運反ナレキんハ呼ヒ佛フツハ符

弗フツ反ナレハ音弼トモ見エテむつト呼フ例アリ人名佛文ニ民眠ヒンビンノ音アリ

又云雲ナドヲ天台宗ナドニ昔ヨリ漢音ノトキハおんトヨム右イツレモ第三

例シコレヲヲ思フニ第二十轉ハ第十八轉ノ如ク實ハおんハきんハいゆんハ

等ノ音ナルヲ直音ニ轉ジテおんハきんハぬんハ直音ナズハいんハナルベケレハ是又第

等ト定メ又おんハんハんハんハ通ハレ呼ハナルベシ然レバ員モ此例ニテ音運ト



通ヒテぬんノ音モアル運字モオ韻字ヲモ音運トモアルコレモうんとぬ  
二十轉ニ屬  
んと通スル例ニサテ假字ハハニ非ズぬ和名抄ニ伊勢郡名員辨ハ為奈倍  
トアリサテ院ハ王眷及瑗ト同音ニテぬんナリ又胡宮及々漢ぬん  
ノ音ハアレハぬんノ音ハ見エズ同韻ノ諸字ニモ第二テ音ノ例ナシ猶考スベシ  
ぬんノ音トスルニ付テ假字ハぬナルヲ疑ヒナシ

いく

屋

育 昱 郁 或 澳 燠

○右諸字実ハ拗音ニテいゆくノ

音ナルヲ直音ニ轉ジスルモノ上ノ因説ニ皆韻鏡合轉ノ字ナバ假字ハぬ  
云ルガ如シ  
くカレ云ベテレドいゆハ九テいノ假字ナバ直ニ轉ジテモ同ジ故ニ和名抄ニ  
淡路郷名育波以久波トアリ是ハナル證ナリ

いつ

質

乙 一 壹 逸 佚 溢 侑 迄

乙

於乞反漢ナリ呉ハいつ。質  
韻ニ屬スルトキハ於筆反呉ハいつ

○右閑音ニテ閑轉ニ屬ス○壹岐ヲ古事記ニ伊伎ニ作り和名抄ニ伊  
勢郡名壹志イチシ伊知イチレトアル假字ヨクアリ

ぬつ

術

聿 鷓

○此二字以出反ニテ本音ハいゆり第十八合轉ニ屬ス

同轉ノ勻サン尹サン等ノ例ニ任セテぬノ假字トス○九テ入聲イチニチハノ韻ヲ呉音ニテハ  
ちト呼コト多シ一日ナドノ如シ越前越後ノ越ナドハ漢音ナレバちト呼リ  
イツモ假字ハハシニ准ヘテ知ベシ

ぬき

職

域 域 訖 洫

○右合音ニテ合轉ニ屬ス○洫ハ曉母ニ屬セ

レバぬぬきをノ音ノ例ナキニ似タレ呼字モカ葉ニをノ假字ニ用ヒ賄モ



只ト呼フコトモ曉母ナレバ洩モぬきノ音疑スベキニアラス

いや

いやく

いよ

いよく

是ラノ音ハ開合ニカハラズ凡テい

ノ假字ニ<sup>ぬラ書</sup>ベカラス 又イラ省<sup>キ</sup>テヤやくよよくトモ書ベシ

○えゑ之假字

え

哀埃愛

以上三字吳

衣依

此二字モ吳

延要曳叡

以上九字古書ニ

ノ假字ニ用タリ

○右ノ字皆開音ニテ韻鏡開轉ニ属ス然ルニ<sup>ハ</sup>叡一字ノ

三合轉

第十

ニテ銳ト同音ニ凡テい<sup>ハ</sup>ハ開ぬ<sup>ハ</sup>をハ合ニテ古書ニ

用タル諸字悉ク此格ニ合ルニ此一字ノ違フベキニ非ズ因テ思フニ同轉ノ

蛙字モ吳音ワナルベキニ常ニ<sup>ハ</sup>アト呼フ此例ニヨラバ叡モ吳音ハえ<sup>ハ</sup>欽

イカニモアレ<sup>ハ</sup>えノ假字ニ用タル<sup>ハ</sup>必所以アルベシ○哀埃愛ハ<sup>ハ</sup>いノ音ナ

ルヲえノ假字ニ用ルユエハ古書ニ開階ヲ<sup>ハ</sup>代ヲテ杯珮背ヲ<sup>ハ</sup>米

賣味ヲ<sup>ハ</sup>めノ假字ニ用タルト同例ニ

礼ヲ<sup>ハ</sup>帝ヲテニ用ルモ漢音ヲ取ニアラズ右ノ格ニテ吳音<sup>ハ</sup>い<sup>ハ</sup>いニヨレリ

又常ニモ怪<sup>クイ</sup>解ノ吳音ハ<sup>ハ</sup>回<sup>クイ</sup>淮ナドノ<sup>ハ</sup>名ナルモ此格ニ又<sup>ハ</sup>導字ノ如キ五

愛及ニノ吳音<sup>ハ</sup>げナレバ愛ニ<sup>ハ</sup>えノ音アル<sup>ハ</sup>疑ヒナシ

ゑ

惠

吳ナリ漢ハ<sup>ハ</sup>い

隈穢

二字吳ナリ漢ハ<sup>ハ</sup>い

回會繪淮

四字吳ナリ漢ハ<sup>ハ</sup>い

衛

以上八字

古書ニ<sup>ハ</sup>用タリ

慧

吳ナリ漢ハ<sup>ハ</sup>い

壞迴

二字吳ナリ漢ハ<sup>ハ</sup>い

畫

吳<sup>ハ</sup>漢<sup>ハ</sup>く。附鳥

○右ノ字皆合音ニテ韻鏡合轉ニ属ス

○繪畫ヲ<sup>ハ</sup>ゑト云ハ御國言ノ如クナレド字音ニ○鳥帽子ノトキ鳥



字ノ假字多ク書ヘシをノ通音ナレバナリ

えう 宵 遙 搖 謡 瑤 姚 陶 要 萼 腰 曜 耀 夭 殀 妖

蕭 么 窈 杳 杳 拗 此字吳漢ハあり 尤 幼 ○右関音ニテ関轉ニ属ス

○凡テ宵蕭韻ニ属ス諸字ノ假字ノコト入声借音ノ字ニ依ルトキハ

いやくきやくとやくちやくちやくみやくみやくアやくナレキニ似タレバ

右書ニ要字ヲえノ假字ニ用ヒ万葉十三ニ遙字ヲえノ假字ニ用ヒ

遙ニタ左可遙トアリニホフハヒフヘノ活用 和名抄ニ簫世字乃布江芭蕉

ナレドモ卷十九ニモ尔太要盛而トアリ 發勢乎波 古今集 瘰癧俗云倍守曾ト見ユ是ラニ依ルトキハえう

けうせうてうねうへうえうまうノ假字ニ世ニモ如此書ナラハルハ古

ノ假字ニ叶ヘリ又着韻ノ諸字ノ吳音モ右ニ同シ拾遺集物名ニ豹皮

ヲカクシテ底へ鷄ノ川波ワケテ云トヨメル是其證ナリ

えふ 葉 葉 麗 麗 擘 擘 ○右関音ニテ関轉ニ属ス

○和名抄ニ木古葉俗云行衣布トアルえノ假字ニテ叶ヘリ

えい 霽 霽 祭 曳 洩 裔 泄 銳 睿 叡 清 英 霽 嬰 纓 纓

盈 楹 羸 瀛 羸 影 郢 映 榮 營 瑩 永 詠 泳 穎 穎 英以下北

一字漢ナリ ○右霽ヨリ泄ニテト英ヨリ映ニテト合せて十八字ハ関

轉ニ属ス曳字古書ニえノ假字ニ用ヒ又和名抄ニ信濃郷名英

多衣太加賀郷名英太江多トアルナド假字ヨク合リサテ銳以下



三字ハ第十六合轉ニアリ然レビ戲ヲ古ハエノ假字ニ用テ因テえい  
ト定ム えノ音下ニ又榮以下八字モ第卅四合轉ニアリ然レビ和名抄  
ニ薩摩郡名穎娃江トアリ又其入声ノ役字モ必エノ假字ナルヘキ  
由アリ 役字ノコレヲニヨリテえいと定ム 凡此第卅四轉ノ第三等第四  
等ハ陶音ノ例ナルキ所以アル  
ニヤ永等ノ呉音いやう頃等ノ呉音  
きやうノナドモ合音ノ例ニハアラズ

ゑい

祭衛

○合音ニテ合轉ニ属ス○古書ニゑノ假字ニ用タリ

えい

先煙咽宴燕譙醜阮堰偃鹽鹽炎琰奄淹

簷檐閻弁厭厭厭黠豔艶仙延筵演焉衍羨沿  
鉛鳶捐娟緣掾究 ○右羨以上廿八字陶轉ニ属ス 鹽韻ノ  
者十四字

第卅九第四十轉ニアリ此ニ  
轉ヲ合トスル本ハ非ナリ ○延ヲ古書ニエノ假字ニ用ヒ和名抄ニ飛簷

此間音比衣無ト見エタルヨク叶リ又出雲郷名鹽冶神名式ニ  
鹽冶神社コレハ風土記ニ夜牟夜ニ作り日本紀ニ止屋淵トアルト  
同處ナレバやむやナリ 後世此所ヨリ出タル人ニエんや判官ト呼フアリ訛  
又神名式和名抄今本ハ字ヲ誤リ訓ヲ誤レリ

又伊勢郡名奄藝阿武義トアルコレヲモ奄鹽ヲあ行や行ノ通  
音ニ用タルエノ假字ニテ合リ○沿以下八字ハ第卅二轉合ニテ表

遠越ナド、同轉ニアレバゑいノ假字カノ疑アリ然レビ古今六帖  
伊世物語等ニうら人のほしどぬえあー巧もバトヨメルエハ縁  
ヲ江ニ云カケタレバ縁字エノ假字ニ 右ハ假字ノタガヘル  
云カケハアルナシ 因テ第二十二



轉第四等ニ属スル者ハえむノ假字ト定ム 表遠越ナドハ第三等ニ属セリ九テ第三等ノ

諸字ハ反切ノ字モ重ク第四等ノ諸字ハ反切ノ字モ皆輕クテ同轉ナガラ輕重ヒトシカラザレバ第四等ハ若クハ吳音開ニヤアラン

**えむ** **元** 表遠 轅猿園 爰援 媛宛 苑怨 婉鴛 垣

以上漢音 **先** 淵 **仙** 瑗 媛 圓 ○右合音ニテ合轉ニ属ス

**えつ** **月** 謁 屑 噎 咽 **薛** 悅 閱 ○右咽以上三字開轉ニ属セリ

悅ハ第廿二合轉ニアレバ第四等字エノ假字ナルベキ由エンノ音ノ下ニ云ルガ如シ○和名抄丹後ノ郷名謁叡コレヲ神名式ニ阿知江トアレバ謁字ア行ノ通音ニ用フエノ假字ヨクアリ

**えつ** **月** 越 粵 曰 鉞 薛 噎 ○右合音ニテ合轉ニ属ス

○越曰ハ古書ニをノ假字ニ用タリ又和名抄能登郷名越蘇惠曾トアリ

**えき** **昔** 益 亦 奕 易 場 液 腋 掖 繹 驛 懌 數 役 疫 漢音

吳ハ ○右數以上十二字開轉ニ属ス又役疫ハ第卅四轉合ニ属スレバ

此轉第三四等ハえノ假字ナルベキトえハノ音ノ下ニモ云ルガ如ク又和名抄ニ疫夜夜美トアル夜ハ即疫ノ字音ト聞ユ えハチト云モモト役字音ヨリ出タルベシ

○おを之假字 附あじ

**お** 於 淤 飫 意 憶 億 隱 礮 乙 應 以上十字古書ニおノ假字ニ用タリ ○右意以下

七字ハ開轉ニ属ス於淤飫三字ハ第十一合轉ニ属セリおハ開合ニ涉ル音ナル故ニ或問曰おノ音ノ開合ニワタルトハサモアルベシ然レバ其音ノ假



字ニ用タル於等ノ字合轉ニ属スルトキハ在ノ音ト何ヲ以テ分シコノ  
義イカバ答云抑閑合ニ涉ル音トハ前圖ノ如ク閑ト合トノ間音  
ナリ然ルニ韻鏡ナドハ四十三轉ヲタゞ閑ト合トノ二ツニ分テ其中間  
ノ立目トテハ別ニタテズ閑合轉ト云ハ閑音字ト合音字トヲミジヘ載ルユエ  
ノ目ニノ閑合ニワタル字ヲ載スト云フニアラザレバ別ナリ  
故ニカノ閑合ノ間ノ音ノ字ヲモニツニ分テイサ、カニテモ閑ノ方ヘ近キヲ閑  
トレイサ、カニテモ合ノ方ヘ近キハ合トセル者ニサレバ於等ノ字モイサ、カ  
合ノ方ニ近シトシテ韻書ニハ合轉ニ収ストイヘ精ク云トキハ中間ノ  
音ナルユエニ在ノ音ノ全合ナルト差別ナキヲアタハズ上ノ閑合圖ニテ  
右ニ假字ヲ定ムルトキ於等ノ字彼國人ノ口ニ呼フ音をニハ遠トホクレテ

おノ方ニヨレル故ニ其音ノ假字ト定メシ者ニ於等ノ字ハ譬ハ相坂山  
ノ如ク近江國ノ合轉ニ属スレド東近江ノ在ノ音ハ遠クテ山城ノ閑音  
ニ近キナリケリ又或問曰おヲ舊ノ如クわ行トスルトキハ於等ノ字合立目ニ  
テヨク叶ヘリイカバ答云おヲわ行トスルトキハ於等ノ三字  
ノミコソ合轉ニテ叶ヘルニ似タレ古書ニ在ノ假字ニ用タル十餘字采心ク合轉  
ナルヲバイカニセム又同シおノ假字モ右ニアクル意以下七字皆閑轉ナルヲイカニセム  
又或曰於字字書ヲ考ルニ鳥ト同音ニ然ルニ鳥ハ在ノ假字於ハお  
ノ假字ニ用ルヲイカバ是レヲ以テ見レバ畢竟おを等ノ假字ツカヒ實ハ  
差別ナキコト欵答云玉篇ニ於央間反居也又倚乎反歎辭ト  
アリ鳥ト同音ナル此倚乎反歎辭ノ方ア、ト讀ムト  
コロ是ナリおノ假字ニ  
用ルハ央間反ノ方ニテ漢音ハよ  
吳音ハ別ノ音ニ後世ノ韻書ニスラ此差別

字ニ用タル



ハ見エタリノ混同スベキニ非ズ 又或人ハ是ヲ辨ヘズレタゞ鳥於同音ト心得ルカラ鳥ヲ漢音おナリト云ルモ非ナリ○又於ヲ助

辞ニ乎字ト同ジヤウニ用ルコトアルニ就テ同音カト疑フ人アレド是モ音ハ異ニ迷フコトナカレ於ト乎トハ助辞ニ全ク同シサマニ用テ乎字註ニ於也トアレバ其音ハ鳥俱及ニテ同ジカラズ於ト乎トノ音ノ異ナルコトモ是ニ准ヘテ知ヘレ後世ノ字書且ハ於ト于トヲ全ク同音トスレモソレハ音韻ノミダレタル者ニ唐以前ノ書ニ同音トセルモノ無キヲ以テ訛 又古書ニ意字ヲ多クおノ假字ニ用タルハ音憶トモ

アリテ即此字ト通用スル方ヲ取ント或人ノ云ルコトニサモ聞エタリ然レドモ意ハハノ音コソ常ナレ憶ト通用スルコトモ稀ナルコトナルニ其音ヲシモ取ムコトイカゞ依テ思フニ御國ノ古書ニ凡テ字ノ偏ヲ省テ用タル

例多シ伎ヲ支ニ作り キ 枳ヲ兵ニ作り キ 村ヲ寸ニ作り キ 健ヲ建ニ作レルタク キ ヒナリ 此事猶委ク古事記傳ニスリ 然レバ意モ通用ニデモナク右ノ例ニテ憶字ノ偏ヲ

省ケルモノナルベシ

を

表遠怨鳥乎呼鳴鳩弘越曰惋迴

以上十三字古書ニをノ假字ニ用フ

汗惡 ○右ノ字皆合音ニテ韻鏡合轉ニ属ス ○表ハ雨元及遠ハ

雲阮及怨於願及ナレ漢多ん呉ハ多んナルニ似タレ元阮願等ノ呉音

実ハ多んナルコト上ノ圖説ニ云ルガ如クナレ右三字呉音をんナルコト疑ナレ

鳥ハ哀都及漢を呉ウニ乎ハ戸呉反音胡ニ然レ漢呉共ニコナルベキ

ヲをニ用タル如何ト云ニ胡字匣母ニ属スルテ匣母ノ字ハかきくやこの

音ナルガ呉音コウをニナル例多シ 皇黄ハマウ 淮ハコウ又カ 故ニ戸

胡等ヲ切字ニ用タル字多クハ呉音コウをニナル 戸國反惑胡掛反話胡光及黄ノタ



クヒ多シ又胡字胡乱カクシ胡曹カクサウ呼ハ荒鳥又火胡及ナレバ直音ナレト是抄ノトキノ音ニ呼ヘリ

モ呉音ハ行ニナル例呼荒火ニナ曉母ニ属ス曉母ニハ行ノ音ノ例ナキニ似タレト上ニ出タル漁字モぬキノ音シ又賄ハ呼罪

及ニノミノ音ナレバ呼ニを弘ハ胡肱及ナレバ呉ヲハ王伐及ハ

音アルコトイヨク疑ヒナシ房越又又于厥反厥ハ居ナレバ漢也つ呉ハハナレベキヲ曰ハ常ニ扶厥反又又ハナレベキヲ又ト呼

ノ音ニ呼ハ表遠等ノ例越ハ即表遠ノ入声シ又發聲ハ甫越及ニシテ

曰ヲをノ假字ニ用タル姓氏録ニ譯語氏ヲ曰佐トカキ和名抄ニ筑前郷名曰佐アリ今本ニ日佐ニ作レコレハ惋ハ鳥賈反ニテ第廿四

吳共ニコノ音ナレト又於元及トモアレバ表遠等ト同例ニ廻ハ音回ナレバをニ用ルト通音ナカラ疑ハシ但シ耐苔ヲナ乃ヲノニ用タル

ト同ジ格ニテコノ音ナレトモ又トモ

呼ハ回廻モコノ音アルマレキニ非ス

ト同ジ格ニテコノ音ナレトモ又トモ

**あう** 證據漢ハ侯謳嘔鷗甌歐以上漢ハ○右開音

ニテ開轉ニ属ス○万葉十八ニ應ノハノ假字ニ用タリ

**をう** 東翁雍瓮雄登泓遇右合音ニテ合轉ニ属ス

○泓ハ廣韻ニ乙肱反ニテを第四十三又烏宏反ニテ第三十六

轉ニ属ス又玉篇ニテハ於昂反ナレバハ雄ハ呉音ハノカハハカナルベケレト

常ニをハト呼ラ故ニ此ニ出ス漢ハ婁ハ鳥遇反ナレバ是モハカハハカナルベケレト

ケレト常ニをハト呼ラシ

**あう** 豪奥襖媪唐鴛盎陽央殃鞅以上三字吳ハ耕櫻漢ハ

ト同ジ格ニテ



鸚鵡 鸚鵡 鸚鵡

以上五字漢ニ  
吳ハイヤリ

○右開音ニテ開轉ニ屬ス

○日本紀ニ鞅ヲわノ假字ニ用ヒ和名抄ニ鸚鵡實阿字之智トアルナドヨ

ク合リ又同書ニ襖子ヲ阿乎之トアルハノ韻ヲをニ轉ジテ御國言

ノ如ク云ナセル例ニテ芭蕉ヲもせをむト云ヒ拾遺集物名ニ紅梅ヲ隱

レテ鸚鵡の巢作ル枝を折つとバ子をバウイウイウとすん今ノ本ニ  
オ四ノ句

コウハハセウトアルハ誤ニナドノ如シ又万葉ニ果字ソクハノ假字ニ所々用タ

ルハノ韻ノ餘ノ例ニ異ニメツラレキコト韻ヲもひふハニ用ルハ入声字ノ例  
ナリ然ルニ又和名抄ニ淡路ノ郷名賀

集加之乎トアルハ入声韻ノ例ニ異ニコレモメツラレ入声ノ韻ノ字ハ皆をひふハニ通用セル例ナルト上ニ云ルガゴトニ

陽

王

往

枉

旺

唐

汪

征

皇

鳳

黃

庚

横

皇以下四字吳  
ナリ漢ハヤリ

耕

泓 ○右合音ニテ合轉ニ屬ス○王以下四字及切ニツキテ論アリ下

ノキヤノ音ノ處ニ云ベシ

あ

狎

狎

鴨

押

壓

合

凹

○右開音開轉ニ屬ス

お

痕

恩

欣

殷

慝

侵

音

陰

飲

三字吳ニ  
漢ハイヤリ

○右開音ニテ開轉ニ屬ス○破ヲ日本紀ニおノ假字ニ用ヒ續日本紀

ニ姫ヲ音那トカキ和名抄ニ陰陽寮ヲ於牟夜宇乃豆加佐トアル

ナド皆假字ノ格ヨク合ヘリ或説ニ恩ニおんとをんとニツノ  
假字アリトスルハ母ナリ

を

魂

温

蒞

穩

元

表

遠

園

怨

苑

苑

ニテ合轉ニ屬ス○表遠怨ハをノ假字ニ用ヒ和名抄ニ紫苑ハ之乎迹ト見



工同物ヲ古今集物名ニモ来<sup>コ</sup>来<sup>ホ</sup>を<sup>ニホ</sup>香<sup>ニホ</sup>ぞトカクセル比皆假字合<sup>ヘリ</sup>

あ<sup>く</sup>職憶億以上吳○右関音関轉ニ属ス○憶億あ<sup>く</sup>假字ニ用

を<sup>く</sup>屋屋○右合音ニテ合轉ニ属ス

あ<sup>つ</sup>迄乙吳ナリ○右関音ニテ関轉ニ属ス○和名抄山城ノ郡名乙

訓<sup>ハ</sup>於<sup>ト</sup>止<sup>ク</sup>久<sup>ク</sup>迹<sup>ニ</sup>假字ノ格ヨク叶<sup>ヘリ</sup>

を<sup>つ</sup>没頰膺月越此字吳○右合音合轉ニ属ス○越<sup>ハ</sup>を<sup>ニ</sup>用多

○加<sup>ハ</sup>行<sup>ハ</sup>之<sup>ハ</sup>假字

き<sup>う</sup>尤九鳩仇久灸咎枢臼舅舊求裘逖救究

非<sup>ハ</sup>丘<sup>ハ</sup>蚪<sup>ハ</sup>糾<sup>ハ</sup>糾<sup>ハ</sup>糗<sup>ハ</sup>麤<sup>ハ</sup>廐<sup>ハ</sup>休<sup>ハ</sup>朽<sup>ハ</sup>牛以上漢ニ吳ハク東<sup>ハ</sup>弓<sup>ハ</sup>躬但<sup>レ</sup>牛<sup>ハ</sup>常<sup>ニ</sup>吳<sup>ニ</sup>コト呼

窮<sup>ハ</sup>宮以上四字漢○右東ノ韻ノ者ハ實<sup>ハ</sup>ま<sup>キ</sup>や<sup>ノ</sup>ノ音ナレ<sup>キ</sup>き<sup>ウ</sup>ゆ<sup>ン</sup>

き<sup>ウ</sup>ゆ<sup>ン</sup>き<sup>ウ</sup>ゆ<sup>ン</sup>等ノ音皆き<sup>ン</sup>き<sup>ウ</sup>き<sup>ウ</sup>ト直音ニ轉<sup>シ</sup>呼<sup>レ</sup>例<sup>ナレ</sup>

ハ是<sup>モ</sup>き<sup>ウ</sup>ト書<sup>ベ</sup>キ<sup>ニ</sup>ア<sup>ヤ</sup>ノ<sup>ハ</sup>ヤ<sup>ノ</sup>等モ是<sup>ニ</sup>准<sup>ズ</sup>レ

き<sup>ふ</sup>入<sup>聲</sup>緝<sup>急</sup>及<sup>汲</sup>吸<sup>笈</sup>給<sup>泣</sup>翕<sup>歛</sup>

か<sup>う</sup>豪高蒿稿鎬蒿豪膏毫告浩誥皓敖傲嗽

齧羔饒臯翱棹好尻考號耗昊顯臬囂唐困

綱剛鋼康糠糠慷亢抗吭吭航昂陽<sup>陽</sup>仰<sup>仰</sup>向

香<sup>郷</sup>強以上六字吳庚<sup>庚</sup>坑<sup>坑</sup>行<sup>行</sup>衡<sup>衡</sup>更<sup>更</sup>梗<sup>梗</sup>硬<sup>硬</sup>亨<sup>亨</sup>杏

羨<sup>美</sup>以上十一字漢耕<sup>幸</sup>倖<sup>倖</sup>耕<sup>耿</sup>鏗<sup>莖</sup>以上六字漢看<sup>看</sup>



殺膠父交絞效咬郊効狡校校孝教巧樂以上十七

**清** 迎 此字宜京及ニテ漢多ハ吳きヤナレハ佛書ニ來迎といふト呼故此ニ出マ ○右豪韻ノ者ハあゝノ假字

カノ疑ヒアルレ古書ニ此韻中ノ高字ヲハカノ字ヲト。保實褒報袍ナド

ヲハ。毛、字ヲトシノ假字ニ用タレバ此韻ハ吳音凡テ皆第五位音かうこつ

のうやうり ナルベシモ云ベケレド猶正音ハ第一位ノ音あゝかゝさうりやう

ラナルキニ其故ハ万葉十五ニ草ヲコノ假字ニ用ヒ果ヲカノノ假字ニ用ヒ

和名抄ニ筑前郡名早良佐波良安藝郷名造果佐宇加ニタ草履

佐宇利馬道米多字。微道古多字。襖子河乎之馬腦メナウ女奈字ナ

トアルコレヲミナ豪韻ノ字ニテ第一位音ナル證ニ然ルヲ第五位音假字

ニ用タルハ通音ニテ耐ナイタイ迺ナイヲトニ用ヒ迺ナイノニ用タル類ナルレ又次ノ

唐陽韻ノ格ヲモ考ヘ合ベレ○唐陽韻中ノ望忘莽等ノ字ヲ古書ニモ

ノ假字ニ用タルアレハ是モ通音ニテ正音ハ第一位音ナルヲ豪韻ニ同ジ

即カノ望莽ヲモ假字ニモ用ヒ又方房セカ防ヲモ莽裝藏相ヲ

サ。當黨宕ヲた。浪ヲら囊ヲだ又カニ用ヒ鞅ヲめニ用ヒ又古今集

物名ニ百和香ヲ隱シテいくそぐくしと久ふトヨミ和名抄ニ瘡ヲ

佐字トアルナドヲ以テ知ベシノ入声ノ韻タク藥ヤクナルニテモ明ケシ○庚耕

ノ韻モ入声韻ハク陌バク來バクナルニテ第一位音ナルヲ論ナク古今集物名ニモ



桔梗ヲ秋アキ近チカク野ハナリニケリトヨネリ○肴韻ハ疑ヒナレ○江韻モ入  
声ノ韻カク覺ナルニテ疑ナレ呉音ノ一ハ次ニ云ベシ

○右豪唐陽庚耕肴江ノ韻ノ諸字凡テ右ノ格ヲ以テ假字ヲ定ムベシ

あう

東

公 蚣 空 控 孔 工 功 紅 攻 虹 貢 鴻 洪 関

以上十四

字漢ニ

侯

口 扣 叩 吼 后 垢 苟 鈎 後 寇 厚 候 喉

猴 遘 溝 構 篝

以上十九字漢ニ呉ハク  
但シ後ナドハ常ニト呼

登

恒 姪 肯 肱 薨

弘

蒸

興

江 江 杠 扛 舡 舡 項 講 巷 港 降 絳

関

以上十二字呉  
ナリ漢ハカク

○江韻ノ諸字凡テ呉音ハ第五位音かうこうそう  
こうのうやう

わうやう

ト定ムベシ其故ハ先ッ其入声朴ハハクぼくと呼ハク濁ハダクちりくと

呼例アリ又エハ東韻ニテ其字ニ从フ功紅等多ク同韻ナルニ江韻ノ

江舡項等同シクエニ从ヒ童モ東韻ニテ其字ニ从フ者多ク同韻ナル

ニ幢ハ江韻ニ講ニ从フ者ハ皆侯韻ナルニ講備ハ江韻ニ又此韻ノ捉

涎等足ニ从ヒ渥ハ屋ニ从ヒ又龐ハ廣韻ニハ薄江及ナルニ玉篇ニハ步公

反江ハ江韻  
公ハ東韻控ハ苦貢又枯洞反ニテ東韻ニアリテ又苦江苦講及ニテ

江韻ニモアリコレヲ考ルニ江韻ハ東及冬侯韻ト相通スルヲ多クシ

テ必第五位音ナレキ由アル者ナリ○東冬侯登ナドノ韻ハモトヨリ第五

位ノ音ノ假字ナルヲ論ナシ

くくく

唐

光 晃 恍 廣 曠 壙 荒 育 皇 惶 惶 蝗 蝗 遑 篁



黄簧 皇以下八  
字吳ハコウ 庚横 漢ナリ  
吳ハコウ 觥礦耕 宏闕轟嶸

かふ 入聲 合合蛤閤洽 洽恰恰夾峽盍 盍闔狎甲

匣狎 狎ハ吳  
あふ ○右合洽盍狎韻ノ諸字第一位ノ音 あふふふふふ  
あふふふふふ

尤フ平上去声諸字音ニテ明ラカシ古書ニモ甲ハ加カカカ等ノ假

字ニ用ヒ答ハたふ雜ハぢ合ハク等ニ用ヒシ上ノ音ノ下ニ

引ルガ如シ但合狎二韻吳音ハ第五位ノ音 あふふふふふ  
あふふふふふ ニナル歟

其故ハ合字ノ平声合字吳ハぢナリ閤字ノ上声感去声紺トモニ

こむト呼 河内ノ地名ニあむト云アリ是ヲ仁德紀ニ  
感致神名式ニ咸古和名抄ニ紺トカレタリ 又和名抄ニ衲ヲ能

不トシルシ甲俗云古不マタ爪甲豆女乃古布マタ甲倉古不久良ナド

レバナリ猶考フベシ

ふ 入聲 業業劫怯 以上吳ハ  
漢ハコウ

きやう 陽薑姜疆疆羌強緜仰仰香享向郷嚮

響響饗 以上十六字漢  
ナリ吳ハコウ 匡筐狂誑況况愜 庚行杏更

梗 以上四字吳  
ナリ漢ハコウ 耕莖耿 以上二字吳  
ナリ漢ハコウ 清京卿敬驚慶輕

頸景竟境鏡競傾頃兄 以上十五字吳  
ナリ漢ハコウ 青經形刑 以上  
三字

吳ナリ ○右庚韻耕韻ノ吳音きやうナルハ其入声格客ハきやく又

漢ハコウ 脣音ノ拍白ハじやく隔ハきやくナルナドヲ以テ知ベシ凡テ此韻皆倣之

○清音韻ノ吳音モ又其入声ニテ知レシ○陽韻ノ匡以下七字第卅二轉



ニ属ス此轉合ニ然ルニきやうハ合音ニ非ズ閑音ニ依テ按スニ匡ハ去王  
 反狂ハ巨王反等ナルニヨルトキハ實ハ々々ノ音ナルベト思ニ其韻字ノ  
 王ハ雨カ反 方ハ府良及ニテ實ハ ナレバ實ハ漢イヤウ呉ありシ是ニ依ルト  
 キハ匡等きやうノ音ニテ合リ然レド此合音ノ例ニ非ズソノウヘ王字モ反  
 切ニカハラズトト呼ラ是合音ノ例ニ叶ヘリ又其上声ノ往字モ于兩反  
 去声ノ旺字モ于<sup>ウキヤ</sup>及ニテ反切ニヨレハ共ニ漢イヤウ呉ありナルキヲ且  
 うト呼ラフ王字ノ格ニ然レバ匡等ヲきやうト呼ラハ合音ノ例ニ違ヘ反  
 切ノ本音ニ叶ヒ玉等ヲ々々ト呼ラハ反切ニ違ヘ反合音ノ例ニ叶ヘリ互ニ  
 如此ナルコトイカサニモ所以アルコトナルベシ○清韻ノ傾以下三字是モ第三十

四合轉ニ属ス然ルニ多ハきやう共ニ閑音ナルコトハ此轉ハ第三等第四等ハ  
 皆閑音ノ例ナルコトハいノ音ノ下ニ云ルガ如シ

きやう 鐘 共供拱恭菴恐蛩邛凶匈胃兕龔顯

以上十四字漢ナリ呉ハ 蒸 興矜兢凝 以上四字漢ナリ呉ハ 鐘蒸韻ノ假字入声ニテ知レ

きやう 肴 肴殺膠交交絞效咬郊効狡校校孝教

以上十七字呉ナリ漢ハ 巧 樂 霄 喬 驕 矯 橋 蕭 堯 驍 曉 皎 叫

竅 徽 梟 翹 澆

きやう 入 帖 叶協夾俠俠頰莢狹愜篋業挾業業劫

怯 脅 以上四字漢ナリ呉ハ



○さ行之假字

さ

尤周秋愁啾秀州洲酬囚首道收鄒搜蒐

臭袖岫醜讎舟羞繡獸脩修首受授皺就酒

手守狩聚驟以上漢柔蹂漢ナリ

さゆ

東衆終充嵩蝨以上漢戎漢ナリ鍾從縱漢ハ

うし吳音さゆナレバ常ニさゆト引テ呼改ニ出ス虞主趨戌右さトさゆトヲ別ニ

舉ル故ハさんトさゆん。さくとさゆく。さつとさゆり是ラ皆別ナル

例ナレバ○虞韻ノ者ハさゆニテさゆト引ベキ音ニハ非レバ常ニ引テ

呼例多シ和名抄乳酪和名迹ニウノカユ字能可遊トアレバ乳ハ虞韻ナリ引モヒガコ

さ

入聲 緝 十什汁拾入 習摺褶執集緝緝葺輯

澀濕隰襲

さ

豪 早草阜造慥曹糟漕遭臬操藻燥譟蚤

搔騷嫂艘窰棗掃 唐倉蒼滄臧藏桑穎茨莽

喪 陽壯莊狀牀裝妝床相想霜箱箱廟瘡創爽

鏘象像

以上陽韻字漢吳共ニさト呼フ者アリ漢さハ吳さヤナル者アリ又漢さヤハ吳さトナル者アリ是ヲ韻鏡ニ考ルニ第二等ノ

字ハ漢さハ吳さヤ第三等ノ字ハ漢吳共ニさヤ第四等ノ字ハ漢さヤハ右ノ如キ差別ナク凡テ漢庚鎗槍耕爭嶢諍箏

字音の考



漢ナリ **看** 稍稍靴爪抓抄鈔巢鎖 以上九字漢ナリ吳ハセ **江** 雙

雙 淙 牕 窻 以上五字漢ナリ吳ハセ

**東** 恩 蔥 總 聰 驄 送 蓂 梭 梭 般 叢 崇 以上十二字漢ニ吳ハセ又セ

**冬** 宗 綜 宋 以上三字漢ニ吳ハセ又セ **侯** 走 叟 趣

奏 輾 湊 族 敷 漱 嗽 以上十字漢ニ吳ハセ又セ **登** 曾 僧 增 贈 憎 贈

層 **江** 雙 雙 淙 牕 窻 以上五字漢ニナリ漢ハセ

○古書ニ宗曾贈增層ナドヲソノ假字ニ用タリ

**合** 雜 颯 巾 洽 甫 挿 盃 卅 狎 嬰

**陽** 章 樟 障 彰 昌 唱 菖 倡 娼 尚 商 常 掌 敞

嘗 賞 裳 將 漿 醬 漿 牆 詳 祥 庠 翔 匠 餉 傷 鷓 鴒 殤

上 以上常ニ漢ニ吳共ニセヤ 壯 莊 狀 牀 床 裝 妝 以上常ニ漢ニ吳セヤ 相 湘 象

像 以上常ニ漢ニ志ヤ 襄 讓 穰 壤 讓 釀 以上六字ハ日母ニ屬スレバ吳ハセ **耕**

爭 諍 箒 以上三字漢ニナリ漢ハセ **清** 清 情 精 請 晴 生 性 姓 牲 胄

笙 正 政 征 鉦 成 城 誠 盛 淨 靜 井 省 聲 聖 以上二十

漢ハ **青** 青 晶 星 猩 醒 以上五字漢ニナリ漢ハセ ○歌書ナドニセヤ

ニ轉ジテセヤト云ル者多シソトキセヤハセ。セヤハセト書ベシ

**鍾** 鐘 鐘 種 腫 街 榷 誦 松 訟 頌 從 縱 蹤 春

蠢 悚 竦 以上十七字漢ニナリ吳ハセ 茸 冗 此二字ハ吳ハセ **蒸** 稱 舛 昇 證 勝 丞



蒸拯承繩澠乘仍

〔肴〕肴梢稍抄鈔鎖以上五字吳ナリ漢ハコ〔宵〕召昭照詔招邵

詔沼紹小少肖宵消蛸銷硝逍焦蕉醮

笑椒釗燒堯饒繞擾堯以下四字ハ吳ハ補〔蕭〕蕭蕭嘯瀟

〔葉〕妾接攝捷睫婕涉浹變葉。附屑先結反

○た行之假字

〔尤〕宙抽紬胄丑紐肘紂耐籌儔疇晝稠惆

糶以上十六字漢ハ吳ハちゆト呼ベキ例ニ但レ惆糶ニ字ハ吳ハちゆナルベシ

〔東〕中仲沖仲忠蟲衷鍾此字吳ハ漢ハちゆう〔虞〕柱拄

注註駐住株誅蛛廚踰以上鍾韻虞韻ノ者實ハちゆナレドモ常ニちゆト引テ呼フ故ニ此ニ出ス

〔侯〕頭偷二字漢ハちゆうシ吳ハちゆ然レ正偷字常ニちゆト呼モ塔頭饅頭トキ然○右ちゆうトちゆうトヲ

別ニ舉ルハちんトちゆん。ちゆトちゆリ是ヲ別ニ例ニ依コト志ゆリ音ノ下ニ云ルト同ジ

〔入〕緝蟄繫

〔豪〕稻蹈滔韜刀叨挑逃到倒道導濤禱陶

荀討嶋悼盜獠饗齏唐唐塘糖當堂堂黨

儻湯蕩盪宕茗耕打橙以上二字漢ハ吳ハちやう〔肴〕肴棹吳ハ撓

〔江〕幢漢ナリ吳ハちゆう







あふ 合納衲 以上漢ハダシハ呉のふに書ベキ歟 其由ハ上ノカク音ノ下ニ云ルガ如シ

あやう 陽孃娘 二字呉シ 漢ハちやう

あよろ 魚女 漢ハちよ 呉ハよシ ○女院女御女官女房ナドトキ引、故ニ出

セリ是ハ八日ヲヤウク牡丹ヲゾクシト云類ナリ

あろ 看鏡 宵鏡 蕭尿溺 呉ナリ 漢ハたう 漢ハせう 漢ハでう

あふ 帖捨 呉ナリ 漢ハてふ

あろ 尤柔 虞乳 漢ハちうシハ呉ハあゆ ナレバ常ニあうト呼 抄ニモ迹字トアリ常ニ然リ

あふ 緝入 呉ナリ 漢ハあふ

○あ行之假字

あう 豪保褒裒寶報袍抱暴。毛老冒帽 毛以下四字漢 ナリ呉ハあう

唐傍滂榜。茫忙莽莽 茫以下四字漢 ナリ呉ハまう 陽方芳房昉

訪防彷彿坊放髻。亡妄罔望芒邛氓忘 亡以下ハ字ハ漢シ

吳ハ 庚亨烹彭。盲亡蝨孟猛 以上七字漢シ彭以上三字呉ハあう 盲以下四字呉シヤナレバ又まうト呼

耕棚 萌薨 看包苞庖胞飽泡鮑

咆豹。茅卯昴貌 以上十四字漢シ豹以上十字ハ呉 ハへう茅以下四字ハ呉ハあう 江邦龐蚌

。庖厖 以上五字漢シ蚌以上三字ハ呉ハ 不う庖厖二字ハ呉ハあう

ほう 東蓬鳳龐豐贈。夢蒙蠓瞢 以上九字漢シ贈以上五字ハ 呉ハふ夢以下四字ハ呉ハあう

但シ常ニカクト呼フ者モアリ 鍾封峯逢烽鋒縫奉捧捧俸 以上十字漢シ 實ハあう







アトト書コトキクノ  
立目ノ下ニエルガ如シ  
鐘 龍 漢ハアトトノ  
アトトノ假字トス  
アトトト書ニモア  
レカレシ

アトト 入聲 緝 立 笠 粒

ラ 豪 老 牢 勞 潦 醪 唐 郎 廊 朗 浪 琅 琅 娘 粮

ロ 東 籠 隴 隴 壟 弄 漢ナリ 隴ハロ  
又ハアトトナルベシ 鐘 瓏 隴 漢ニ  
ハアトトナルベシ 隴ハロ

ル 入聲 合 拉 盍 臘 蠟 侯 婁 樓 縷 樓 樓 樓 樓 體 陋 漏 以上十字漢ニ  
ハアトトナルベシ 隴ハロ 又ハアトトナルベシ

リヤウ 以上三字 隴 陽 良 兩 亮 梁 梁 量 糧 涼 諒 麴 清 令 冷 領

アトト 以上四字 隴 鐘 龍 漢ナリ 隴ハロ 又ハアトトナルベシ 鐘 瓏 隴 漢ニ  
ハアトトナルベシ 隴ハロ

アトト 蒸 交 陵 凌 綾 登 楞 稜 二字 隴ハロ 又ハアトトナルベシ

ト呼 ○日本紀ニ稜ヲろノ假字ニ用エル和名抄ニ相模ノ郡名餘綾与呂岐

キウ 宵 燎 繚 療 蕭 了 聊 料 寮 僚 僚 鐐 鷓 營 蓼 廖

キウ 入聲 葉 獵 鬣 鼠

○濁音ぶぢぢ之假字

濁音ノ假字ニおトぢトガヒビトづトガフ多シ此分チハ齒音ト舌齒  
音トノ字ハおトシ舌音ノ字ハちつナリ其中ニ齒音ト舌音トノ字ハ多ク  
ハ清音ニモ呼コトアル故ニ分レヤスク舌齒音ノ字ハ清音ニ呼例ナキ故ニ分リガメ  
キコトアルシ九テ右ノ濁音ドモヲ分チ舉ルヲ左ノ如シ



ぢ 自示次視辭慈事字兒寺侍時特似奴。二貳  
耳餌珥兒爾尔通而

○自辭貳餌珥兒尔時ナド古書ニおノ假字ニ用タリ

ぢ 治持痔。尼臙備。附除 此字除目ノトキぢノ音ニ呼フ又  
神名式ニモぢノ假字ニ用タル所アリ 柱 琴

○尼臙ヲ日本紀ニぢノ假字ニ用タリ 和名抄ニ痔 知乃夜万比

ぢや 蛇虵邪閣謝麝若 ぢや ぢや

ぢぢ 樹壽受授就頌鷲聚娶豎。需儒孺濡。附入

ぢよ 序敘徐錡助鋤恕絮。如汝茹茹

○序敘鋤茹ナド古書ニそノ假字ニ用タリ

ぢよ 除杼篠絮。女 ○杼ヲ古書ニおノ假字ニ用タリ

ぢむ 神深甚壽腎盡燼迅訊。人仁刃忍仞壬任

妊社維荏 ぢむ 陣沈塵

ぢゆむ 淳惇諄醇鶉准隼準盾循楯閏潤順馴

旬巡純遵 ぢゆむ

ぢく 孰肉 ぢく 竺軸舳衄

ぢやく 寂鵲雀。若弱 ぢやく 著

ぢゆく 粥熟塾 ぢゆく

ぢゆく 辱蓐褥 ぢゆく 濁







間俗云都以之ト凡此のノ音ヲ是モ理ナキニ非ズトイヘ本わらわ

うえをハうおナバくまいついゆいふいといト書シモ理アリ然レモ和化ナド  
ヲモくト書テくまトハカズ會怪ナドヲモくといトカキテくあといトハ書ズ觀官  
ナドヲモくといト書テくあんとカクナレ此例ヲ以テ 猶いヲ書ハワロシ  
推ニ必くわをわつゆゆあうわトカクベキナリ

○常ニハキノ音ニ呼フ字ヲ古來くわト假字ヲ附タルアリ是ハ皆合

口音ノ字ニテ韻鏡合轉ニ属シテ本ハくわノ拗音ナラキノ直音ニ轉

ジタル者ニ限レルト然ルヲ此差別ナク開合ニカハラズ凡テキノ音ノ字

ハ皆くわトモ書ベレト心得ルハ誤シ前ニモ云ル如ク本ヨリノ直音ヲ拗音  
ニモナス例ハ御國ニハ無キコトナリ

くわトモ書バヤ字ハ規闕窺貴匱季悒癸葵駮鬼愧

魏巍危詭跪暉揮偽媯龜軌歸喟諱麾毀達

植夔簋虺卉此餘モ合音ノ字ハ皆同シ是等ニ此外開音ノ字ニハ書ベキ

ニアラズ

○下中わ之假字

わ  
くわ くわ くわ くわ  
くわ くわ くわ くわ  
くわ くわ くわ くわ  
くわ くわ くわ くわ

右ノ諸音凡テ己ノ假字ナルト上ノ第三會圖ニテ明ラカシク

假字ヲ書ハ大ニヒガコトシ凡テ三字ニカク字音ノ中ノ假字ハ  
喉音ヤ行ワ行ノ字ニ限レルコトシ

○韻む之假字

撥ル韻ノ假字ノコト或説ニ開口音ノ字ニハんヲ書キ合口音ノ字ニハむヲ

書ベレト云ルハ甚レキ妄説ナリ其差別アルベキ由ナレ韻ノ假字ニハん



通用スベシ無武務年等ノ音ニハ必スハシヲ書ベシントハ書マシキ  
猶んノ音ノコトハ論アリ三音考ニ未ダ云リ

字音假字用格終

安永五年  
丙申春發行

書林

勢州松坂日野町 柏屋兵助  
同所本町 田丸屋正藏  
京都寺町佛光寺下町 錢屋利兵衛

本居先生著述書目

字音かるけうひ

喉音三行辨  
此を所屬辨

全部一冊

板行出来

漢字ニ音考

漢吳唐三音  
凡字音ヲ考テ

全部一冊

右同

國號考

全部一冊

右同

真曆考

全部一冊

發行

馭戎慨言

玉鐸百首

全部一冊

管笠日記

宇治大納言物語

板行出来

直日靈

嘯山三宅先生校正

葛花

宇治大納言物語

全部三冊板行出来

玉のりり

此は本居先生著述の細工を  
細工とて一冊として發行せしむる也

全部一冊 板行出来

大被詞後釋 全部二冊

是は中臣被の註解也書あり  
寛政八年辰之春 新刻 出来

發行書目林

勢州松坂日野町 柏屋兵助  
京都寺町通佛光寺下町 錢屋利兵衛



